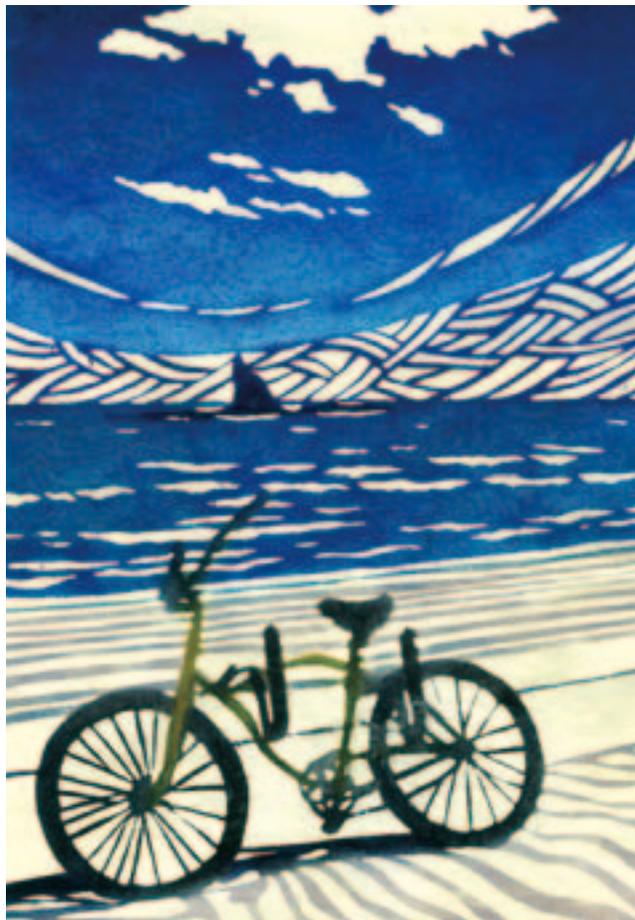


神奈川県立鎌倉高校同窓会会報

あしお

第 33 号

特集話題の人



いつもの場所で
丸山晶子（昭和63年卒業）

目 次

会長ご挨拶	3	八ヶ岳西麓でのスローライフ	25
鎌倉高校の近況 (校長)	4	鎌高卒、若き優れたアーティスト	26
特集：話題の人「三澤憲一」	5	青春を走り抜けた箱根駅伝	29
職員人事異動	10	部活動報告	30
在職中の鎌高の思い出	11	進路状況概況	36
私のお店紹介	14	会計報告	37
わくわく キッズ コンサート	16	協賛金納入者	38
同窓会・クラス会	18	総会案内	42
近郊探訪	20	役員名簿	43
卒業生による進路講演会	21		

題字：増田 隆子 (旧姓／小島 昭和 41 年卒業)

表紙：作者 略歴

丸 山 晶 子【まるやま あきこ】(昭和 63 年卒業)

神奈川県藤沢市出身 藤沢市在住

小さな頃から絵を描くことが大好きで水彩画、油彩画、パステル画を趣味で描き続けてきた。その後京都で染織を学び、型染めや藍染めを中心に制作。

自ら名付けた“型絵染画”とは型染めの技法を取り入れつつ、彩色では単に色を染めるというよりは描くという絵画的な表現方法を使っている。湘南の四季の風景を主に制作。

2008 年 鶴沼桜が岡にアトリエ兼ギャラリー“あとリエ梅庵”をたちあげ、個展やグループ展、イベント、ワークショップも企画開催している。



部室の修繕

会長 鈴木勝貴

(昭和45年生)



すがすがしい新緑の季節、会員の皆様にはますますご清栄のことと

お慶び申し上げます。本会報を通じ母校の今、そして会員の今をお伝えすることができ好評を頂いております。皆様方のご協力の下、更に親しまれる会報を目指して参ります。

3年前の大震災後に入学された皆様が今年の3月4日に鎌高を卒業されました。そして4月、新入生が黄色いバッチを受け継ぎました。新たにうしお会の会員になられた卒業生の皆様には、これからの人生を楽しく送っていただきたいものです。

さて、一昨年度から協賛金をコンビニにて納めていた

けるようにしてから、おかげさまで皆様からの浄財が増加いたしました。そこで、昨年度の総会において「部室の修繕費支出」として300万円を承認いただきました。「神奈川県まなびや基金」に寄付をし、県を通して進めているところでございます。近々きれいになった部室を見ることができると思っています。

このように目に見える形での貢献ができますのも、鎌高を愛する会員の皆様からのご支援の賜と心から感謝申し上げます。引き続きのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、個人でも神奈川県まなびや基金に寄付が可能です。鎌高の為に寄付として特定ができますのでご協力願えれば幸いです。

我が鎌高も86年目を迎えております。90周年に向けてうしお会として何をすべきかを

考えて行く時期になりました。皆様方からのご意見等を参考にし、また伝統ある鎌高に相応しい事業ができるように努めて参ります。

同窓生の皆様は各方面で活躍されておられます。特に芸術関係の方が多いと思っております。絵画・音楽・彫刻・華道等々様々な分野で多くの方が活躍されております。普通高校では珍しいのではないのでしょうか。同窓会としても応援をしたいものです。

情報交換や親睦を兼ねて開催されている同期会やクラス会。その開催情報や報告を是非うしお会へお願いいたします。ホームページやFacebookにて告知することができますのでご利用頂きますようお願いいたします。

2万4千人もの卒業生を排出した鎌高。私の周りにも世代を超えた多くの同窓生が居ります。愛する鎌高に恩返し

できるように、そして鎌高の応援団としてうしお会も活動して参ります。

最後に、会員の皆様のご活躍とご多幸を祈念しますと共に、うしお会の更なる発展に向けてご支援ご協力をお願い申し上げます。



鎌倉高校の近況

校長 柏木 隆良



着任してから3年目を迎えました。

大雨が過ぎ去って、鎌高の新C棟から外を見ると、空の雲の切れ間から幾筋もの降り注ぐ光の帯がみられ、それは今後の鎌高の輝く道を示しているように感じられました。

3月4日には、65期生2772名が卒業し、鎌高の卒業生は24,273名となりました。進学状況は、教育課程の変わり目であるため、安定志向の傾向が顕著になり、難関大学への進学率が低下した状況が見られました。学校組織として、一人ひとりの生徒に対する学習支援をより強化し、進学の希望の夢の実現を目指し

て努力してまいります。

平成26年度の入試選抜は、制度が大きく変わった2年目になり、中学生の進路希望は一定の調整が行われたようで、秋の時点では人気が高かったのですが、2月7日の時点で定員278名のところ356名の志願者数があり、倍率は1.28倍でした。

倍率は昨年度に比べて下がりましたが、難易度は高く、そのハードルを乗り越えてきた優秀な68期の新1年生277名が入学しました。今後の新入生の活躍が大いに期待できます。

昨年度は、台風の影響により鎌高祭が1日だけの実施になりましたが、その1週間後の9月23日に、生徒の強い希望と頑張りにより、3年生のミュージカルを実施し、その思いが伝わる催しとなりました。

10月の2年生の沖繩修学旅

行も台風の影響により、離島への活動を中止するなど行程を変更して実施しました。最近では、気候の変化が激しいため、生徒の安心・安全を考えた学校の活動が重要だと考えます。

部活動は、科学研究会が「たたら製鉄」の研究で県知事賞を受賞、剣道部と水泳部が関東大会出場、カヌー個人は関東大会優勝、そしてサッカー部が全国高校選手権大会県予選で県ベスト8まで勝ち進みなど多くの活躍がありました。今後も学習と部活動・行事の文武両道を実現するため、生徒の努力とメリハリのある活動を指導することで大きな成果の実現を目指したいと思えます。

また、昨年度に引き続きキャリア教育の活動として、社会で活躍されている卒業生の方の講演会や直接企業を訪ねる

インターンシップ等の教育活動を実施したいと考えています。

さらに、神奈川県における「まなびや基金」へのご協力、誠にありがとうございます。グラウンド側の部室棟の改善ができることになりました。完成時には、是非、部室棟の2階に上がって青く広がる相模湾と江ノ島の絶景をご覧いただけたいと思います。

以上のような多くの生徒の活躍を支えていただいている大きな力のひとつが「うしお会」だと思えます。後輩の生徒たちを見守っていただき、光り輝く道を先導していただきたくよう、継続したご支援・ご協力をいただければ幸いです。よろしくようお願い申し上げます。



特集

II 話題の卒業生 II

神奈川中央交通株式会社
取締役社長

三澤憲一

これからは逆の発想

今回は、神奈川中央交通株式会社取締役社長に就任されておられます三澤憲一社長にスポットを当てました。

社長就任4年目の三澤社長をオフィスに訪ね、バスに掛ける思いを熱く語ってもらいました。

聞き手…S41年卒 森田豊文



― 初めまして、私、三澤さんの1年下になると思いますが、「うしお」で編集をやっております、森田と申します。よろしくお願ひします。今日はお忙しい中どうもありがとうございます。

三澤 こちらこそよろしくお願ひします。

― 40年卒ですね？

三澤 ええ、そうです。

― そうすると、担任の先生はどなたになりますか？

三澤 担任の先生は山本先生でした。

― 私は神川先生でした。

三澤 そうですか。私の頃は稲垣先生が有名でした。非常に恐い先生でした。

― 稲垣先生！私も英語で習いましたね。

― とところで、部活動は何かされていましたか？

三澤 僕はね、地理歴史、いわゆる地歴部に入っていました。

― 地歴部だと顧問の先生は？

三澤 阿部先生と木川先生です。お二人ともすごくやさしい

先生でした。

― ええ！阿部先生は地理の先生じゃなかったですかね？

三澤 そうです。まあ学校が鎌倉にありますから、歴史や地理の研究をするには非常に恵まれた学校でした。

僕は地歴部で部長をしましたが、やっぱり土器の発掘なんかは良い「思い出」です。

― そういう事をされていたんですね？

三澤 ええ、してましたね。土器をつなぎ合わせたりね。そういえば、一番の思い出は最初に行ったキャンプの美ヶ原ですかね。意外と女性が多かったですからね。比較的そういう面では和やかでした。良い「思い出」です。

― 地歴部だと、河野？ っていうのが僕なんかと同じ学年でいたかな？

三澤 ああ、そうですか。僕は稲垣先生のご子息と一緒にです。

― ええ。1年上です。稲垣さんは僕より1年上です。

― とところで、鎌高へは最近行

かれましたか？

三澤 最近行っていないですね。でも高校時代の友達との付き合いは今もあるんですよ。昨日もクラスメートと一緒に飲んだんですけどね。

― 鎌高では、国際理解ホールが旧図書館の場所にできまして、あと昔あった体育館が結局耐震に合わないって言う事で取り壊しに…

三澤 取り壊しですか？

― ええ、去年取り壊して。今年の前半、1月ぐらいからきれいになりましたね。

三澤 でもだいたい僕なんかの頃ともう様子が変わってしまいましたね。…、約50年近いですからね。もう入学してから半世紀ですからね。

― そうですね。私は月に1回位は同窓会等で鎌高に行っていますが、グラウンドは相変わらず昔と変わらないですけど。

三澤 ああ、そうですか。赤土で？

― 部室も昔のままです。

三澤

頃だっぴどかったですよ。

— ええ。だから、皆とお金出し合って、部室を何とかしようとは話しているんですけど。やはり色々大変みたいなんです。

あれだけは唯一、昔からずっと残っていますね。(笑)

— 部室だけが古くて。校舎はみなきれいになりましたね。

三澤 ああ、そうですか。ほんとうに良い高校でした。

— いやあ、今思うと懐かしいですね。

三澤 僕は寒川の生まれですから。実は1時間半もかけて何で鎌倉まで行かなきゃいけないって思ったこともあったんですよ。でも、全く後悔してない。一生付き合えるすばらしい友人を沢山つくるのができたから。ですから今でも付き合っている友達にはお医者さんもいるし、同じように社長をしていたり、自分のお店を持っていたり、色々な分野で活躍している友達がいいます。付き合いが今でもできているのは、本当にありがたなことですね。クラス会もかな

り頻繁にやっていますね。この前も、この友達が誘ってくれてましてハワイに一緒に遊びに行っていました。

— そうなんですか。今でも色々付き合いがあるんですね。

三澤 今度モンゴル行こうなんていう話がありました。ウランバートルへ行こうなんて話が持ち上がっているんですけどね。

— モンゴルはすごくいい所らしいですよ。

三澤 そうですか。僕は行ったことがないので全くわからないですね。ぜひ行ってみたいなって思っているんです。

— それは楽しみです。では今度モンゴルの回顧録を?(笑)

三澤 いや、いや(笑)。

三澤 もちろん大学時代友人の付き合いもまだ繋がっていますけども。今のところ高校時代の方が多いかもですね。

— 大学の友人とは、結局あまり会えないですね。

三澤 そうですね。まあ最近に戻ってきて、リタイアしている友人もかなり多くなりましたか

ら。時間はあるんですよ。ですから、大学時代の友人とも1年に1回か2回ぐらいは顔を合わせていますけど。まあその程度ですね。

— 大学卒業されて直ぐ、こちらに昭和45年入社されていますね。

三澤 ええ、そうです。一浪しましたね。まあ高校時代は「鎌高ボケ」じゃないですけどね。友達の間で三齋っていうのが大きなバイク乗って学校へ来ていました。天気の良い日なんかバイクの後ろに乗ってね、江ノ島まで弁当を食べに行っていましたから(笑)。まあさすがにね、浪人していたときにはそれなりに勉強はしましたけどね。

— 僕もやっぱり現役中は、2時間目でもう弁当食べていました(笑)。外見たら江ノ島が見えて(笑)。やつぱり案の定落ちて一浪しました。(笑)

三澤 ああそうですか。思い出があるのはあと…まあさつき部活動の話をしましたけど。体格がいいものですかね。野球

部に入らないかと言われていたんですけど。ただ僕はもう本当の運動音痴なんですよ。

— そうなんですか。

三澤 ええ。まあせっかく歴史の豊かな鎌倉地区の高校に入りましたからね。

— ああ、そうなんですか。なるほどね。

三澤 人生ってわかんないですね。

— そうですね。

三澤 いや、本当。常に僕はそういうこと言っています。

— いやあ、もう死ぬまでわからないですね(笑)。

— ところで、平成22年ですね? 社長になられたのは。

三澤 ええ、そうですね。

— 4年間どうですか? やはり大変ですか?(笑)

三澤 まあ大変ですよ。僕は45年に入社したけども、当時の神奈川中央交通っていうのは、大卒は縁故募集しか採用していません。なかつたんですよ。

— そうなんですか。

三澤 ですから当時、まあそんなに業績がいいということじゃないですけども、安定はしていませんから。そんな理由から、たまたま僕のおじさんが高校の校長やってましてね。それでこの会社の非常勤の役員を知っています。そういう縁故で入社した訳です。

入社後はバス営業所勤務からはじまり、経理、人事、そして、グループ会社へ出向していたこともありました。自分の人生の大きな転換期は関係会社へ出向した時だと思えます。色々な仕事をやらせていただきましたので、多くの経験を積むことができました。ただ単に、ルーティンワークをするだけでなく「こうしたらもっと便利になるのではないか」とか「こうしたらもっと良くなるのではないか」などいつも考えながら仕事をしていましたしそれが楽しかった。だから、最近では若い課長達を集めて色々なことを考えたり、議論したりする勉強会を開いたりもしています。

―沿革を見ましたら、大正10年に相武自動車株式会社として創立されたんですね。

三澤 そうですよ。歴史は長いですね。

―うちの父が大正10年生まれなんです。ちょうど神奈川中央交通とまったく同じです。

三澤 そうですか！1921年ですね。今年で93年ですね。

―長い歴史なんですね。

三澤 そうですね。そもそも横浜生まれの会社なんですけどね。中小の会社を統合して大きくなっていき、戦時統合で一時は東急の傘下へ入っていたんですね。しかし戦後は財閥解体じゃないですけども、小田急の傘下に入ったという流れですね。

―沿革を見ています…整理券方式を初めて導入されたんですね。

三澤 ええ。今ではワンマンバスが当たり前ですが、当時はいわゆる車掌さんがバスに乗っていました。でも、採用が非常に難しくなって人手がなくなっ

てですね、それでワンマンになった。整理券を使った多区間方式でのワンマンバスは当社で編み出したんですね。それで一気にワンマン化が加速をしたというようなことですね。

―そうですね。1番2番3番の番号があつて、料金が分かるのは非常に便利でしたね。

三澤 そうですね。今でも覚えているのが、深夜バスと称しまして、夜11時以降の運行が経済成長と共に当たり前になってきたことですね。

―初めてあの試みをこちらでやられたんですね？

三澤 ええ、そうです。それを実現できたのは労働組合の理解があったからだと思えます。多くの会社はですね労働組合から反対されたんです。しかし、当社は上部団体に入っています。で、これまでも「労使一体」となり色々なことを乗り越えてきましたから。深夜バスの件も労働組合を説得して「こういうことをやっていこうよ」というようなことで理解を得られ

たから実現ができたのだと思います。だから当時、長谷川という専務だったか副社長だったか、明確には覚えていませんけども、総評の太田薫さんとテレビ対談で、その説明をしたというのをまだ僕は印象に残っていますね。

―深夜バスは助かりますね。正直言つて。

三澤 ええ。そうなんですよ。あれはもう画期的なことだったですね。

―電車がいくら発達しても、全部はカバーできないですね。結果的にはバスがカバーしなければ。

三澤 そうですね。いわゆる支線になるわけですね。電車の幹線に対して支線ですから。だからどうしても必要ですね。

―電車は終電12時過ぎとかありますけど。深夜バスは非常に助かりますね。

三澤 特に団地と駅を結ぶ輸送が多かったんですね。昭和30年の後半から昭和40年から、浜見平団地もその1つなんですけ

どね。特に町田市は、たくさん公団の団地ができましたね。その輸送が多かったんです。これはまあ大きな点でしょうね。それともう1つ、当社ならではのものは、今はまあP.A.S.M.O. いわゆる非接触のICカードになりましたが、その前まで使われていた磁気カードの導入も当社がバス会社の中ではいちばん早かった。

— ああ！ 磁気カード、ありましたね。

三澤 そういう、まあ今まで先駆的なことをやって来たんですね。ですから、比較的バスそのものは順調に来てはいるんですけどね。

— これからの需要はもうたくさんあるでしょ？ まだまだ。

(笑)

三澤 いや、これからどういう風になるかですね。人口が減少しているわけですから。その需要をどういう風に我々が取り込めるかですね。特に高齢化社会を迎えまして、お年寄り、いわゆる交通弱者の足となりうる

か、ですね。それを今研究しながらやっていますけど。

— もうほとんど神奈川県は神奈中バスですね？

三澤 神奈川県はほぼ全域と都内の一部が神奈中バスのテリトリーなのですが、ただ三浦半島は除きます。ほとんど入っていませんから。

— あちらは京急ですか？

三澤 ええ。そうですね。三浦

半島は京急さん、あるいは江ノ電さんが入っています。あと当社は川崎市の一部にも入っています。まあそんなことで、ほぼ独占状況なものですから、稀に言われてしまうんですよ。矢面に立つんですけども。僕はいつも何かあるたびに申し上げているのは、手前どもの場合いわゆる対キロ制といまして、キロ数に応じた運賃をお客様から頂戴しているんです。その基本の、要するに賃率っていうのがあるんです。それが、今のところ31円70銭なんです。関東一円で、西武バスさんに次いで安いです。それだけ企業努力をしてい

るんです。にもかかわらず独占をしていますから、「殿様商売」だとか言われてしまうことがあるんですけど。それで非常にづらい思いをしますけどね。ですから、ことあるごとにそういうようなことは申し上げているんですよ。全国的にも非常に低い運賃で県民のみなさんにご利用いただいていると言えるんですけどね。

— まあ、大変ですね。(笑)

三澤 そうですね。まあ、安定はしていますけどね。戦後のいわゆる高度成長の中、地方から集団就職で沢山の人が出てきて、神奈川県に居を構えるようになった。それとともにバスを利用するお客様も増えて、業務内容も拡大してきました、というようなことですね。でも、今後どういう風になってくるかわかりませんが、ただバスがなくなることはないですね。

— ないですね！ 絶対。

三澤 ええ、これだけはないと思いますけども。ただ、高齢化社会まさに少子高齢化の社会を

迎えてどういう風になっていくかですね。まあ色々今考えてはいますけどね。人によっては、バス利用者が逆に増えるんじゃないかと言う方もいらっしゃるんですけどね。

— 多分段々、マイクロバス、小さくなっていくんですね？

三澤 おっしゃる通りです。もうどんどん小さくなっていきます。

— 私は、以前北鎌倉住んでいましたけど、北鎌倉だと梶原の辺とかバスが通っています。が、段々小さくなっていますね。

三澤 おっしゃる通りですね。以前はバスっていうのは排気ガスの問題もあったわけですね。あるいは騒音もあるし。あまり山の上まで来てくれるなどというようなお客様が多かったですけど。横浜市では、お年寄りの「足」として、「バスを入れてくれないか」という要望がかなり強くなってきました。

— 車の運転ができなくなると、そういう人もいっぱいいるから、そうなるんでしょうね。

三澤 そうですね。ただ、小型になれば生産性はそれだけ当然落ちるわけでしてね。ですから経営的には非常に厳しくなってしまう。しかし、そうは言いながらも、地方自治体から、いわゆる住民から、そういうリクエストがあるわけですね。それにかにしていけるか、というそのせめぎあいと言いますかね、それが非常に難しい。今後大きな問題になってくると思います。国交省もよく分かっています。去年の暮れに交通政策基本法という、簡単に言えば交通弱者をどういう風に救済していかかっていう法律が施行されました。まあこの法律のターゲットは主にバスのことなのだと思いますね。ですから今後地方自治体を中心となって住民の足をどういう風にするか、事業者と利用者が一体となって話し合っていこうというようなことになろうかと思っています。

— 色々考えなくてはならないことがいっぱいありますね。(笑)

三澤 ええ、バスの在り方が今後変わってくるとしています。これからは、知恵の勝負になってくると言いますね。ですから、多分従業員の働き方も変わってくると言いますね。労働基準法などの様々な決まりごとに合致するように勤務をし、どちらかと言えばお客様のリクエストよりも優先されていますが、今後は決まりを守るのももちろんのこと、お客様からどういうリクエストがあり、そのリクエストに応えるにはどういう勤務をするかということを考えなければならぬと思います。つまりお客様中心で物事を考えなければいけなくなる。そこに我々の知恵が求められると思います。

— 確かにそうですね。

三澤 これを考えなくちゃいけないでしょうね。逆の発想ですね。そういう傾向が強まると思います。

— あとは、将来の夢みたいなものはありますか？ 又は何かやってみたい事ありますか？

三澤 やつぱり、いかにしてバ

ス事業を残すかというところでですね。それだけある面で瀬戸際に立たされてるっていう意識はありますけどね。先ほど93年って申し上げましたけど。東京オリンピックの翌年の2021年がちょうど当社の100周年になるんですね。

— そうなんですか。じゃあひとつの大きな区切りになる訳ですね。

三澤 おっしゃる通りです。それまでに少なくとも財務体質やあるいは会社の、いわゆる世間から見る目も盤石にしておきたいなということですね。

— 今後の夢みたいなものは何かありますか？ (笑) 世界一周ですかね？ (笑)

三澤 旅行はしたいですね。女房ともそういう話をしていますけどもね。今年あたりも実はスイスとイタリアの方へ行くかどうか言っていたんですけども。

— いいですねえ。

三澤 でも、旅客輸送というお客様の生命を預かる仕事をしていますから。そこに我々の

仕事の源泉がありますから。— 行けなかつたんですか？

三澤 どうしても「万が一」を考えてしまいます。これは交通業の宿命なんですね。「神奈中バス」は1日地球5周分、年中無休で走っています。お客様の安全を確保するために、トップ自らが先頭に立ち、全社員一丸となって「無事故」を達成するためにあらゆる取り組みをしています。

— 体が丈夫なうちしか海外旅行は行けないですからね。

三澤 そうですよ。足腰が弱くなってじゃ行っても面白くないですからね。

— 70代前半までに行ければいいですね(笑)

三澤 まあそうですね。それはぜひやりたいですよね。

— あとは体を大事に

三澤 そうですね。朝ウォーキングをしたり。子会社でフィットネスクラブをやっていますから、日曜日には、エアロビクスやったりストレッチやったりマシンをやったりはしているんで



すよ。なかなか体重は落ちない
ですけどね。そんなことはやっ
ていきますけどね。
— これからも体に気を付けて、
頑張ってください。どうも今日
はありがとうございます。
三澤 ありがとうございます。

「プロフィール」

三澤 憲一

生年月日 昭和 21 年 10 月 18 日
最終学歴 昭和 45 年 3 月
慶應義塾大学
法学部 卒業

職歴

昭和 45 年 3 月
神奈川中央交通株式会社入社
昭和 59 年 3 月 経理課長
同社 経理課長
平成 3 年 1 月 経理部長
同社 経理部長
平成 8 年 8 月 人事部長
同社 人事部長
平成 9 年 6 月 取締役、
同社 人事部長(委嘱)
平成 11 年 6 月 常務取締役、
同社 人事部長(委嘱)
平成 12 年 4 月 常務取締役、
同社 人事部長兼
情報システム部長(委嘱)
平成 14 年 6 月 専務取締役
同社
平成 22 年 6 月 取締役社長、
同社 現在に至る

職員人事異動

○大変お世話になりました。

❖ 退職者

大平 孝典先生 (数学)
田嶋 信一先生 (数学)

❖ 離任者

伊藤 剛先生 (副校長) 高浜高校へ
小出 実先生 (数学) 横浜修悠館高校へ
大川 充先生 (体育) 神奈川総合高校へ
宮本 健司先生 (英語) 高浜高校へ
真鍋 由紀先生 (英語) 大和西高校へ
石井 里美先生 (家庭)
宮澤 佳代先生 (社会) 横浜栄高校へ
増尾 茂男先生 (社会) 高浜高校へ
星野 謙治先生 (理科) 大楠高校へ
栗原 秀行主査 金井高校へ
醍醐 幸司書 相模原中等教育学校へ

○よろしくおねがいます。

❖ 転入者

石川 雅之先生 (副校長) 旭高校より
成瀬 紀先生 (数学) 横浜緑ヶ丘高校より
宮澤 仁先生 (保体) 厚木北高校より

❖ 新採用

小山 直人先生 (数学) 舞岡高校より
斉藤 宗男先生 (社会) 大船高校より
杉原 義久先生 (数学) 藤沢総合高校より
山本 徹先生 (英語) 藤沢清流高校より
武藤 博子先生 (家庭) 神奈川総合高校より
今村 裕二主査 保土ヶ谷県税事務所より
藤原 いずみ司書 深沢高校より
三浦 千絵先生 (国語)
川嶋 大介先生 (社会)
中野 祐志先生 (数学)
大塚 聖先生 (英語)

在職中の鎌倉の思い出

鎌倉高校の思い出

田嶋 信一（数学科）

鎌倉には十年間勤務したので、たくさん思い出があります。すべてを書くことはできませんので、水泳部のことをお話します。

私が着任した時の水泳部は一年生女子二人、二年生男子一人のスイマーと数人のマネさん（マネージャー）だけでした。顧問は毎年転勤者が担当していたようです。私も水泳部顧問の経験がないので、一年限りの顧問と考えていましたが、一年生の二人から「私たちが水泳部を立て直すので先生も協力してほしい。」と頼まれ、翌年も顧問を引き受けました。

最初の3年間は試行錯誤の連続で苦労しましたが、4年目から県大会決勝出場を目標とする生徒が入部してくるようになります。5年目に練習量を倍にしました。その結果、8月の県高校水泳大会では女子のリレーで決

勝に残ることができました。そして2010年には、沖縄で開催された

インターハイに、女子リレー2種目、女子個人3種目で出場することができました。それから、ほぼ毎年女子リレーで関東大会に出場しています。今年インターハイは千葉県開催なので皆さん応援よろしくお願いします。

このように、大きな大会に勝ち進む時も感動しましたが、日々の練習で生徒がベストを更新できた時も、自分のことのように嬉しかったことを覚えています。また、今年の卒業式の日、水泳部のみんなが私の「卒業を祝う会」を開いてくれたことは一生の思い出です。

鎌倉で教員生活を終わることができて、本当に幸せ者です。この十年間に出会えたすべての生徒のみなさん、そして教職員の皆様、心から感謝しております。



鎌倉高校の思い出

小出 実（数学科）

私は教員初任校として、5年間鎌倉高校で勤務させていただきました。1年目は、授業の度に緊張で手が震えて、よく生徒に笑われていました。今となっては良い思い出で、卒業生が来た時は、必ずと言ってよいほどこの話題が出ます。

2年目からは担任としてクラスを持ち、昨年教員生活初めての卒業生を出しました。個性も強く、叱ることも度々あり、毎日苦勞の連続でしたが、楽しい思い出の方が強く心に残っています。体育祭総合優勝に立ち会えたことは、教員生活の宝物です。

部活動では、これまで弓道部、体操部、バレーボール部、陸上競技部の顧問を務めさせていただけました。弓道部では、はるばる厚木東高校まで引率したことが、看的が予想以上に難しかったこと、緊張感のある部の雰囲気印象に残っています。

体操部では、一緒に練習をさせてもらい、け上がりとかバク転

ができるようになりました。できた瞬間の嬉しさと部の一体感忘れられません。

バレーボール部では、団体競技の素晴らしさを学ばせていただきました。毎週のように練習試合でいろんな高校に引率して大変でしたが、いつも真剣に部活に取り組み部員たちにたくさん元氣と感動をもらいました。特に県大会出場が決まった瞬間は、自分のことのように嬉しかったのをよく覚えています。

そして、4年間顧問を務めた陸上競技部。私は、中学時代からずっと陸上競技を続けていたこともあり、部に対する思いには特別なものがありました。一時は新入生があまり入部せず、人数が少なく寂しい思いもしましたが、段々と部員も増え、活気が出てきました。短距離チームでリレー、長距離チームで駅伝に出場できるようになることが、これからの楽しみです。

鎌倉高校を離れようとしている今、改めて思うのは環境の素晴らしさです。豊かな自然に恵まれ、こんな高校で学べる皆さんがとても羨ましく思います。

5年間本当にありがとうございました。

鎌倉高校の思い出

宮澤 佳代 (社会科)

私が鎌倉高校に転動したのは2009年でした。学校は前に鎌高に勤務したことのあった同僚から聞いていた通り、海と富士山など抜群のロケーションで、ことに社会科研究室からは江の島、大島が眺められ、中庭には桜もあり、折々に見られる景色は喜びになったり、慰めになったりしました。5年間はあつという間の楽しい鎌高生活でした。

一番の思い出は何かと考えると、2011年3月11日の事になります。担任していた3年生の卒業式、学年末テストも終わり、午前授業の日でした。次年度に向けての顧問会議中で、大きな揺れを感じ「地震！」と声を出したのは私が初めてでした。揺れは長く、「生徒の避難を」ということで、会議室から放送を入れて避難が始まりました。

部活の時間帯でしたので、まず部活ごとに部員の安全避難を把握することになりました。情報が得られ、東北の大地震で大津波警報も発せられたことが伝えられました。余震も繰り返す中で、生徒を安全に避難させるために、何が出来るか、何をすべきか、教師としての自分が試されている気がしました。そんな中で、鎌高前駅で事態を知らず、電車を待っている生徒がいるかもしれないと気が付き、若い先生に見に行ってもらい、一般の乗客と共に避難させることが出来ました。その後のことも、鮮明に記憶しておりますが、とても書き尽くすことはできません。とにかく幸運なことに、鎌高が停電にならなかったこと、津波が低かったことなどで、生徒の大半を安全に帰宅させることができました(学校に泊まることになった生徒もおりました)。

もう一つは茶道部の顧問になったことです。神奈川県の高校茶道部の大会ともいえる「高校生茶会」が2010年は鎌倉高校が会場になります、と茶道

部会からお話があったのは、着任2年目によりやく茶道部顧問になったばかりの時でした。指導をいただいていた酒井先生、野先生と相談しながら、準備を進めました。鎌高らしいことを考え、現業の方にお願いで青竹を一本伐っていたで花入れを作るなどして、好評の内に無事終えることができた時はほっといたしました。

2013年、茶道部を酒井先生から引き継ぎ、生徒の指導を始めました。地域の行事に活発に参加している茶道部を今後とも責任をもって指導しようと考えているので、社会科教師としてはお別れですが、鎌高とのご縁は当分続けさせていただきます。卒業生の皆様も作法室にお寄りになって、お茶を一服どうぞ。

数学を楽しむ

大平 孝典 (数学科)

三月末で退職し、あらためて数学の授業のことを思い出す。教科書の記述は次のようになっている。

① 新しいテーマの導入と、中心となる定理・公式の紹介と証明

② 例題とその解答例

③ 練習問題や応用問題

まず考えるのは、①で具体的に何の事例を話し、どこでこれまでの知識と結びつけるか。近頃は興味を示す生徒は少ないので授業の中では多くは語らない。生徒には、問題を解けることが最も重要なのだ。公式を暗記し、例題の解答を真似ながら問題を解く訓練は効率的に違いない。

でも、それで十分か。もっと難しい問題に取り組むには、個別の公式だけでなく数学の全体像を捉えることが大切なのだ。それは生徒が自分で獲得するもので、授業で教えるものではないのかもしれない。問題を解ければ終わりでもない。

数学と言う山には多くの道があり、定められた頂上もない。険しい崖も美しい景色も体験しながら、余裕をもって勉強して欲しい。数学を自由に感じ、楽しめるようになることを願っている。

神奈川県知事よりお礼

拝啓 時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

かねてから本県の教育行政の推進に格別の御尽力を賜り深く感謝申し上げますとともに、このたびは神奈川県まなびや基金のために御寄附の申込みをいただき、御芳志のほど誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

御寄附いただいた寄附金につきましましては、御趣旨に沿って活用させていただきたいと存じます。

今後とも、本県の教育行政により一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

平成二十六年一月二十九日
 教具

鎌倉高等学校同窓会
 会長 鈴木 勝貴 様

神奈川県知事

黒岩 裕治

上記のとおり神奈川県知事よりお礼の文章が届きました。

鎌倉高等学校同窓会は、昨年6月の総会で承認された通り「神奈川県まなびや基金」宛て300万円の寄附申込みを提出し、神奈川県教育委員会教育局行政部財務課より平成26年2月17日付の納付書・領収書を受け取りました。

「神奈川県まなびや基金」とは高等学校の耐震化、老朽化対策等、県立教育施設の教育環境整備事業の財源として活用するものです。今回、老朽化したグラウンド西側部室の改修工事のために寄附しました。まなびや計画推進課が委託業者を決定し工事執行となります。4月から工事が始まるようお願いしました。皆様の大切な協賛金が、現役生徒諸君の環境作りに還元され、部活動でよりよい結果を残せるよう同窓生一同願っています。

同窓会事務局



<p>株式会社 ミルススペース 代表取締役 田中 正明 (昭和36年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢973番地 相模プラザ第3ビル6階 TEL:0466-23-3012 FAX:0466-26-6509</p>	<p>ミマツ音響株式会社 代表取締役会長 山本 泰弘 (昭和30年卒) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-7-3 TEL:03-3253-6483 FAX:03-3253-9080</p>
<p>ケンジグループ 創業者 飯嶋 勝男 (昭和38年卒) 〒251-0024 藤沢市鶴沼橋1-17-5 TEL:0466-26-0309 FAX:0466-27-1322</p>	<p>日本精麦株式会社 代表取締役 田中 賢三 (昭和37年卒) 〒253-0114 高座郡寒川町田端1590-5 TEL:0467-72-3620 FAX:0467-74-2002</p>
<p>株式会社 ワイエスシー 代表取締役 小泉 稔 (昭和40年卒) 〒220-6213 横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC13F TEL:045-227-5711 FAX:045-227-5747</p>	<p>江島神社 宮司 相原 圀彦 (昭和39年卒) 〒251-0032 藤沢市片瀬4-14-21 TEL:0466-22-4324 FAX:0466-22-4324</p>

私のお店紹介

湘南薬品

20回生 (S44年卒)

曾我 寿裕

先日、藤沢駅南口のダイヤモンドビルでお互いの父親の代からお世話になっている、鎌高先輩の叢秀樹さんから珍しく携帯に電話を戴いた。日頃から良く会っているのにと訝しながら内容を聞くと鎌高の機関紙「潮」に投稿しませんかとの話でした。

「潮」が発行されている事は昔から知っていましたし送って



戴いた事も承知していますが、読む事もなく多くの書類の山に埋もれて二度と目にしない事の繰り返しと記憶しています。

鎌高は私にとっては大変楽しい充実した高校生活を送る事が出来た場所であるとの思いがあります。ただし思いは有るのですが具体的には人の名前、顔立ち、共通の話題等が記憶の中でほとんど欠落しているのは頭の悪さか記憶力の無さか口で言うほど感激していないかと思われてならない2年ほど前に大船で開かれた同窓会で会った多くの友人の記憶が飛んでいて自らの記憶の曖昧さに嫌気がさした記憶が新しいただ「鎌高が大好き」との思いは卒業後45年過ぎてもぶれていないと信じて毎日を送っている一人のOBと自負しています。

私の会社は「湘南薬品」という藤沢を中心にドラッグストア7店舗 調剤併設薬局15店舗 化粧品専門店4店舗を運営するローカルな昔でいうチェーン薬



屋です。

薬・化粧品販売と処方箋調剤をメインに藤沢・鎌倉・戸塚区を中心に平塚から逗子まで地域で店舗を展開しています。

昭和31年に父が藤沢駅南口の現在のダイヤモンドビル(名店の隣)のある場所で商売を始めたのが始まりと聞いています。

昭和44年に鎌高を卒業後、家を継ぐという安易な考えで薬科大学に進み、薬剤師資格を取得し、2年間の製薬メーカー勤務

を経て父の経営する湘南薬品に戻って38年 時間のたつのは本当に早いものです。

私が戻った頃の日本の薬局は、現在どこでも見受けられる郊外型のドラッグストアなど全くなく、地元には昔からある地域密着型の町の薬局と規制を打破していこうとする新興薬局の台等がぶつかり始めた時代でした。

主婦の店「ダイエー」が多くの規制と闘いながら次第に国民の支持を得ていく時代と並行して進んでいた気がします。





多くの変遷を経て現在、仕事に向かう私の夢は60年前に父が始めた頃に建てた志、地域の人々が必要とされる薬屋・化粧品店を目指し店舗の有る地域を広げていきたいと考えています。具体的には「クオリティ・オブ・ライフ(QOL)」（生活の質）を高めるお手伝いがしたい。其々の人が自分らしい生活を送る為に生活の質を求める時代。単品大量販売の数の理論ではなく、1人ひとりに合わせた心の時代になんとなくあたたかくて安心感のある店舗が自分の育った地域で皆さんに喜ばれ、より

多くの店舗が展開できれば社員共々こんなうれしい人生はないと考えてあと10年は仕事に向かいたいと考えています。

鎌高の2階校舎から見た晴れた日の相模湾 伊豆大島の景色の素晴らしさ、そこで出会った友人たちを思いだしながら脈絡のない文章を書かせて戴きました。御容赦下さい。



株式会社 湘南薬品

〒二五〇〇二五
 神奈川県藤沢市鶴沼石上二一〇一七
 TEL: 〇四六七二二一〇三三八
 FAX: 〇四六七二四一八四九七

うしお会では皆様の同窓会を応援します

参加者100名を超えると思われる学年同窓会、または部活動OB・OG会の開催につきましては、応援金として20,000円、50名から100名の場合は10,000円を寄付致します。

幹事の方は、予め開催する旨、日時会場などをうしお会ホームページに掲載申し込みしてください。尚、開催報告として数枚の写真とコメントを後日お送りください。ホームページまたは会報誌「うしお」に掲載させていただきます。多くのご了承ください。

お申込み
 うしお会ホームページからメールフォームでお申し込みください。

受取方法
 開催日前日までに幹事さんが来校していただきます。
 ※また、名簿、会場(うしお会)が経営する店舗)なども

昨年、の会報「うしお」の発行部数は、約17,000部でした。と言うことは、うしおの会員が全国に約17,000名いると言うことです。

当然の事ですが、年々会員は増えていきます。この中には、地方で生活をされている会員の方が多くおられます。同じ鎌高卒業生として、その地域でうしお会を育てて頂くこともできるのではないのでしょうか。うしお会事務局は、各地域での開催を応援いたします。同窓会開催計画を事務局に連絡頂き、打合せ後、事務局にて案内を送ります。個人情報に十分な注意をした対応をさせていただきます。まずはご相談を。

うしお会地方開催

ご案内することが可能ですので、ご相談ください。

ベルフィーユ・アンサンブル

わくわく



キッズコンサート @銀座

2014 年 5 月 25 日 (日) 午前 11:00 開演 / 午後 14:00 開演 ◆ 十字屋ホール (銀座)

主催: 十字屋ホール 東京メトロ銀座駅 徒歩 2 分 Tel. 03-3561-5250

見て、聴いて、体験できるコンサート!

0 歳から大人まで楽しめる ベルフィーユ・アンサンブル

オリジナルコンサート (二回公演) を銀座で。



公演決定!

2015 年 1 月 24 日 @逗子

2015 年 1 月 24 日 (土) 午後 2:00 開演 (予定) ◆ 逗子文化プラザ なぎさホール

主催: ベルフィーユ・アンサンブル

好評のキッズコンサート、大人のためのコンサート続編か、

はたまた新しい企画が生まれるのか…お楽しみに!

情報はベルフィーユ・アンサンブル ブログにて。

<http://ameblo.jp/belle-feu/>

ヴァイオリン:

梅津美葉

44 回生

ヴィオラ:

安藤美佳

41 回生

ハープ:

安井弘子

43 回生



ピアノ:

宇治田かおる

42 回生

フルート:

加納敬三

33 回生

ソプラノ:

淵岡優子

40 回生

ベルフィーユ・アンサンブル



2014.1 - 大人のためのコンサート Vol.4
春を聴く、音を旅する - 名曲“春”と音で巡る世界の旅

2013.5 - わくわくキッズコンサート Vol.4
朗読「ベチューニアのたからもの」と音楽

2013.1 - 大人のためのコンサート Vol.3
「星の王子様」とフランス音楽

2012.5 - わくわくキッズコンサート Vol.3
朗読「すみれおばあちゃんのひみつ」と音楽

2012.1 - 大人のためのコンサート Vol.2
写真家 桑川真木彦氏の写真「人」と音楽

2011.6 - わくわくキッズコンサート Vol.2
朗読「かわいいことりさん」と音楽

2010.12 - 大人のためのコンサート Vol.1
クリスマス休戦「世界で一番の贈り物」と音楽

2010.6 - わくわくキッズコンサート Vol.1
朗読「ふしぎなバイオリン」と音楽

《その他の活動》

小学校での音楽鑑賞会
チャリティーコンサート
『祈り』シリーズ



朗読

濱田典子 40 回生
元フジテレビアナウンサー

《キッズコンサート》

- ◎3才の息子は1部から3部、全て興味深く集中して聞いていました。
- ◎生演奏、本物の楽器を体験できて、孫のみでなく、若夫婦もリフレッシュしておりました。
- ◎子供と一緒に演奏を楽しめる機会がなかなかないのでとても有難いです。生の音は感動しました。

《大人のためのコンサート》

- ◎ゆったりとした気持ちで楽しめました。
- ◎このようなコンサートを、各地ですて頂きたいと思いました。また来年も楽しみにしております。
- ◎鎌高卒業生として共有できるものがあり、有難く思います。
- ◎やろうとしていることがとてもよく感じられ、感動しました。

鎌高生、OBOGの皆様
多くみなさまのご来場を
お待ちしております！

=ブログ=

<http://ameblo.jp/belle-feu>

=お問合せ=

Tel. 090-4927-6099

Fax 0466-36-1392

e-mail bee_fee_eee@aol.jp



同窓会・クラス会を開催しています

四十年振り(?)の クラス会開催

21 回生 (S45 年卒)
今井 義夫

21 回生の 12 組クラス会を本当

に久し振りに、去る 4 月、鎌倉のレストランで開催致しました。前回のクラス会を何時、何処で開催したのか、誰も明確に覚えておらず、微かな記憶と当時の写真からして、卒業間もない頃だろうということ、40 年振りの開催となりました。残念ながら既に 5 人の方がご逝去されていましたが、担任をされておりました神川先生にもご臨席を賜り、今年 81 歳を迎えられるとは思えない若々しさとお元気なお姿に、参加者全員感激もひとしおでした。クラスの参加も 31 名もの多くの仲間が集まって頂



S 45 年卒クラス会：神川先生を囲んで

き、遠くは福岡から来てくれた者もおりました。何せ 40 年振りのですから、なかなか顔と名前が一致しない者もおりました。直ぐに打ち解け、そこかしこで笑いの渦が出来上がってお

りました。神川先生を始め、各々の近況報告では、笑いあり、拍手ありでとても盛り上がり、懐かしい在校当時を思い起こし、その時代に戻った気持ちにもなりました。本当に楽しいひと時を過ごすことが出来ました。最後に合唱部 O G 三人のリードにより全員で校歌と応援歌を大合唱し、又の再会を期し、楽しい一時の幕となりました。

昭和 45 年卒

16 組 26 組クラス会

21 回生 (S45 年卒)
田中 和雄

昭和 45 年卒 (1、2 年 6 組クラス会) のクラス会を 6 月 1 日 (土)、午後 6 時から七里ガ浜の鎌倉プリンスホテル内の七里ガ浜バンケットホールにて開催しました。

このクラス会は昭和 42 年に鎌倉に入学し、1、2 年 6 組とともに学んだ仲間が卒業後約 30 年経過し、しばらくぶりで再開し

<p>株式会社 ウェルカム 代表取締役 増田 隆之 (昭和 40 年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢 559 角若松ビル TEL: 0466-25-3005 FAX: 0466-25-3006</p>	<p>有限会社 東昭産業 代表 松中 芳治 (昭和 40 年卒) 〒248-0006 鎌倉市小町 1-3-5 TEL: 0467-22-1908 FAX: 0467-25-3411</p>
<p>株式会社 ポントロ トレーディング 代表取締役 程嶋 幸男 (昭和 41 年卒) 〒231-0023 横浜市中区山下町 25-1 TEL: 045-900-2200 FAX: 045-640-4729</p>	<p>理事長・園長 山田 誠一 (昭和 41 年卒) 学校法人 北鎌倉学園 おおぞら幼稚園 鎌倉市大船 5-10-35 TEL: 0467-46-2932 FAX: 0467-46-2948 プレップ おおぞら保育園 (定員: 0 歳 9 名 1 歳 12 名 2 歳 24 名) 鎌倉市大船 4-21-1 TEL: 0467-46-1071 FAX: 0467-46-1070</p>
<p>総合建設 大沢組 代表 大沢 廣和 (昭和 41 年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢 3-2-14 TEL: 0466-22-2225 FAX: 0466-22-3119</p>	<p>鎌倉山田屋 岡本 治男 (昭和 41 年卒) 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下 3-8-29 TEL: 0467-22-0338 FAX: 0467-24-8497 MAIL: mail@kamakura-yamadaya.jp http://www.l.kamakuranet.ne.jp/kamakura-yamadaya/</p>



S 45 年卒クラス会：諏訪先生を囲んで



諏訪先生

その後1年ごとにクラス会を開催しています。今回は写真のとおり、諏訪先生をはじめ23人（男13、女10）が参加しました。また嘶家の春風亭ぴっかり☆さんの落語と南京玉すだれを交えてちよつとりツチに行いました。



嘶家 春風亭ぴっかり☆さん

23 回 生 還 暦 同 窓 会

23 回 生 (S 47 年 卒)
巽 律子

鎌高を卒業して42年。私たち23回生も還暦を迎える年となりました。

昨年11月還暦を節目として第3回同窓会を鎌高国際理解ホールに於いて開催し、150余名が鎌高に集いました。当時の先生方（小田先生、渡辺渉先生、渡辺苗史先生、落先生岩澤先生）も駆けつけてくださいました。

外見は多少？ 変わってもちよつと話をすると鎌高時代にタイムスリップ。会わずに過ごした時を飛び越え、分かり合えるのは、同じ時、同じ空間を共有したからでしょうか。楽しかったあの頃と素敵な仲間たち。鎌校での思い出がまた1ページ増えました。話は尽きず、二次会、三次会と盛り上がり、あつという間のひとときでした。

次回は65歳になる4年後の再会を約し幹事会も参会としました。

鎌校での同窓会を開催するにあたり、ご尽力をいただいた皆様にご場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。



S 47 年卒クラス会：鎌高国際理解ホールにて

近郊探訪
—松田町—
「寄(やどりき)」若葉まつり

9回生 (S33年卒)
安藤 昌夫

五月五日、私は松田市「寄」の「若葉まつり」に行つて来ました。この日は朝から天気も良く、会場の「寄自然休養村・管理センター広場」には大勢の人が集まり、賑わっていました。

特設ステージでは、地元出身の人氣歌手・北川大介さんが、特別ゲストとして出演しており、その美しい声に大変感動しました。

私がここ「寄」を訪れるのは、今回は二度目で、前回は今年一月の「ロウバイまつり」の時でした。が、近郊でありながら、この余り耳慣れない地名の土地に特別の興味を抱き、また周囲の人に勧めもあって、私は改めて「寄」の歴史や地名の由来を調べてみようと思ひ、早速五月七日、松田町役場を訪ねてみました。

この折、前回の拙稿「ロウバイまつり」の掲載されている

「かわら版(春季号)」を持参したのですが、それを見た町の職員から、「寄」を「やどりき」と書いているが正しくは「やどりき」である、との指摘を頂きました。

町から頂いた「町の概要」その他の幾つかの資料を読むと、要は、隣の秦野市との関係、また明治時代の七ヶ村合併等が、その源にあり、更に昭和三〇年、当時の松田町(惣領、庶子、神山の三地区)に寄(村)が合併し、現在の松田町(四地区)になったとのこと。

終わりに、「寄」があるここ松田の町の事に触れると、都心から小田急線で一時間余り、鮮やかな緑と「川音川」の流れが織りなす素晴らしい景観の地であり、「寄」もこのような環境の中で、町の発展と相携えて益々発展していくものと期待されています。



<p>フライスター株式会社 代表取締役 関 全男 (昭和43年卒) 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-6-1 TEL: 045-470-0330 FAX: 045-474-3768</p>	<p>株式会社 齋藤商店 代表取締役 齋藤 光久 (昭和42年卒) 〒251-0037 藤沢市鵜沼海岸3-1-7 TEL: 0466-36-3188 FAX: 0466-33-3380</p>
<p>ダスキン メリーメイド藤沢南店 鈴木 勝貴 (昭和45年卒) 〒251-0056 藤沢市羽鳥4-12-33 フリーダイヤル: 0120-460-770</p>	<p>株式会社 イシイフーズ 代表取締役 石井 英樹 (昭和43年卒) 〒251-0047 藤沢市辻堂1-8-29 TEL: 0466-34-7072 FAX: 0466-34-7072</p>
<p>松井歯科医院 松井 久芳 (昭和47年卒) 〒253-0022 茅ヶ崎市松浪2-3-41 TEL: 0467-82-7754 FAX: 0467-82-7759 MAIL: info@matsui-shika.jp http://www.matsui-shika.jp</p>	<p>鈴木運輸株式会社 代表取締役 鈴木 勝貴 (昭和45年卒) 〒251-0056 藤沢市羽鳥4-13-33 TEL: 0466-34-1118 FAX: 0466-34-1119</p>

卒業生による進路講演会

2014年1月23日鎌倉高校の体育館にて、「卒業生による進路講演会」が行われました。

元劇団四季の女優の五東由衣さんの講演は生徒たちに大変好評で、卒業生のみならずにも是非お聞きいただきたいと思い、講演の抜粋を掲載させていただきました。くことにいたしました。

……………
皆さんこんにちは。五東由衣と申します。

1983年に鎌倉高校を卒業しました。

今日は私のやってきたミュージカルの舞台の話を通してみなさんのお役に立てることがあったらと思っと思ってやってきました。どうぞよろしくお願います。



私は劇団四季というところで21年間ミュージカルをやってきたのですが、まず劇団四季に入るまでのお話をします。

生まれも育ちも鶴沼海岸で小学校は鎌倉の清泉小学校、中学は鶴沼中学校、大学は武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻でした。小さい頃から夢中になると時間を忘れ、ずっと一つのことをやり続けるという子でした。

今でも忘れないのが、幼稚園か小学校低学年の時、新聞紙を正方形に切ってカブトをおるのが楽しくて、気づくと私の周りには70個のカブトが転がっていました。

お誕生日に誘われてお友達の家遊びに行ったら時には、ピアノを弾き始めたら友達皆外で遊んでるのにずっと一人でピアノをひいていました。ただこの時もカブトと同じように時と場合と限度を考えようと幼心に思いました。

中学時代は私立から公立に変わり、小学校のしつけが厳しかったために、言葉使いが気取っているといじめられたり、声がわざとで

はないのですが、変わっているといじめられたり、要所要所とつても大変でした。このいじめ体験を通し客観的に自分や周りの人たちを見る事を覚えしました。強いグループのほかにその人達とは関係なく静かに過ごしている人たちがいることにも気づき結果的に平和に中学時代を終えました。

高校に入ると、なんか似た者同士の集まりと言うか、のんびりおらかな面々という感じで楽しい日々でした。鎌高祭・合唱コンクール・期末スポーツ大会：盛り上がりっていました。

高校2年の時 大学受験に必要ということ声楽を習い始めました。歌を習い出すと 歌で受験をしたくなりました。なぜかというところから大きな声が出たりそれプラス私には絶対音感がなかったためです。絶対音感がないと、試験の時20ページ25ページある譜面を暗譜して指に覚え込ませイチカバチカの大勝負ということの繰り返しなので、すでに限界を感じていました。歌には歌詞があり覚えられる。ということ声楽で大学に行きたかった

のですが、4歳の頃からピアノを習い始めたたくさんお金がかかっているから、とにかく形にしてくれと母から言われ、ここはまた素直に従いました。

踊りの方は小学校3年4年と姉の影響でクラシックバレエを習わせてもらったのですが、あなたはピアノを弾けということに辞めさせられてしまいました。ただ大学に入ったら自分のお金で習っていいということだったので、大学に入ってからはバイトをして週3、4日踊っていました。ただでさえ武蔵野音楽大学は、埼玉県の入間市というところ有り 往復6時間以上かかっていたのに、なぜそんなことができたのか全く覚えていないのですが、週3、4回は踊りのお稽古に通っていました。大学3年の時コマージュのナレーションの事務所に所属していた踊りの友達に誘われまして、事務所に所属してコマージュのナレーションを始めました。声優ではありません。初仕事はマイケルジャクソンが初めて来日するという、スポンサーがNTTのコマーシャル

で、ビリージーンの歌と映像が流れ、私が「マイケルが私の愛に答えてくれる」と一言言うと小林克也さんが英語でコメントをかつこよくいい最後にBYNTTとって終わるコマージュです。ほかにもブリックバックや小梅ちゃん等々やっています。

大学を卒業するにあたり教員免許も取りましたが、人に教えるより自分で何かしたい、それも好きなことだけをして生きていかれないかなと考えていたので一般的な就職ははなから考えませんでした。

大学を卒業してコマージュのナレーションやらピアホルでドイツの歌を歌うなどのバイトをしていたとき、事務所がたまたま今はなき新宿コマ劇場で初演された、『SFXYOZ』（早見優さん主演のオズの魔法使い）のオーディションの話を持ってきてくれました。それに受かりお稽古をしていたところ、アンサンブルの皆が宮本亜門さんと大地真央さんの『エニシング・ゴーズ』のオーディションの話をしていたので、申

し込み、やはり声が大きかったからだと思えますが無事合格。そこからは東宝やSFXYOZの音楽監督さんから声がかかり一年の仕事が決まりました。そして『エニシング・ゴーズ』で一緒にさせていただいた方の中に、四季出身の女優さんがいらして、その方が「あなたは四季にあつてる」と一言私に言うてくださったために、「そう？じゃ行ってくる」という感じでオーディションを受け、そこから21年が経ってしまいました。なので夢や憧れでミュージカル女優になつたわけではなく、自分にできること好きなことを照らし合わせ、仕事として選んでたままラッキーにもミュージカルでは一番大きな劇団に所属できたということになります。稽古するのは基本5時間6時間当たり前です。私自身でできないこともわかりますし、言われても言われてもまだ足りないんだなという感じでお稽古していました。やるべきことはわかってるし前に進むしか道はないので、なんの迷いもなく突き進みました。できるようにな

ればいいだけです。「なんで私だけーとか、こんなにやっているのになぜー」と思い悩んでも無駄です。要求されていることは自分のレベルではないので。客観的に自分を見る目を持つていたのですかね。夢や憧れでこの職業を選んだのではない強みだったかもしれません。

続いては舞台に立つための訓練についてお話しします。

劇団は毎朝10時から、女子も男子もバレエレッスン。そして呼吸法、発声、開口の訓練。お昼を挟んで13時から、作品のお稽古のある人は稽古、ない人はジャズダンスのレッスン。作品のお稽古は17時までだったり、18時19時まで。そのあと稽古の復習または自分の課題をクリアすべく自主練といった生活でした。稽古終わりに演出家があつた。稽古終わりと言ったら、夜の9時だろうが10時だろうが言葉通り二回通すまでは帰れません。振付師ができるまで帰らないでと言ったら本当に11時12時まで稽古する若い子たちがたくさんいます。踊りでも歌でも一日で完

璧なんてありえませんが。でも注意されたことを一つだけでも集中して稽古すると、必ず次の日には前の日と多少なりとも変わります。それはキャリアのある人だったら一目瞭然。そこですぐできなくても人の言うことをちゃんと聞いて努力する子なんだなと一つ理解してもらえて、それを積み重ねると技術も信頼も勝ち取ることができ。一石二鳥です。

そうして作品が完成してくると劇場に入ります。劇場に入つてからの時間割は、普通は本番3時間前からバレエのバーレツションをし、呼吸法、発声、開口、ミーティング、場あたり、食事、そして大体1時間前からメイクをし本番に突入といったタイムスケジュールでした。ただ途中でのキャストチェンジやうまくいかなかったところがあると早くに劇場に入りリハーサルルームで稽古などが行われます。

——『マンマ ミーア』

この作品は80年代一世を風靡したABBAというロックグループの曲だけでお話が綴られ

ます。内容はシングルマザーが形振り構わずホテル経営をしながら、女手一つで子育てをし、その一人娘が結婚する前日から当日のお話です。それまで『美女と野獣』のベルや『オペラ座の怪人』のクリステイヌなど、お姫様みたいな役が多かったので、お客様や劇団内ではかなり驚かれましたが、私的には違和感はありませんでした。私の中にあるドナという役と重なる部分を広げて伸ばして乗り切りました。

自分にあつたキャラクターほど演じて強いものはありませんが、でもそんな役ばかりくるわけではないので努力が必要です。他人のイメージと違ってその人が持っているものは本人にしかわかりませんし、資料や参考になる映像をみたりして想像力で役を作っていくこともできません。ただ一番怖いのは、舞台はその人の本性が見えてしまうのです。意地悪な人には優しい声は出せません。なので私が普段心がけていたことは、常に人に優しく、でした。

ければどんなにお芝居がうまくても舞台には立てないということですよ。声の質はいろいろありますが一ヶ月二ヶ月のロングラン公演で喉声で歌っていますと途中で壊れてしまいます。そのためにも腹式呼吸が大切です。喉でも体でも怪我をしないためにもウォーミングアップ、クールダウンや日々の訓練、メンテナンスがとて大切ですよ。また毎日毎日舞台を踏むと疲れが溜まってきます。どんなにマッサージュや針などでケアをしても週末は体が疲れから硬くなつてきます。でもそんな中レベルをキープするのは最終的には気合といましようか精神力です。私自身は疲れていても、その役の人物は疲れていない。自分の意識を役に合わせるそんな時に役の心の居場所をしっかりと作っておくことや音楽や振りつけは助けになります。

「ミュージカル『キャッツ』」に出演していた時には、週末体が辛い時でもオーバーチュアアが始まると体中からエネルギーが湧いてくるんです。言葉では説明できないのですがなんてやりのあるミュージカルだろうと思っていました。どんなに体中が痛くてもできないという言葉はありません。キャストされている限りは。やるだけです。

——『Aida』

この作品ではスタッフさんのことをちよつとお話したいと思っています。そして私が毎日思っていたことを。

私たちのウォーミングアップは3時間前から始まるのですが、スタッフさん達の楽屋入りは私たちよりだいたい1時間くらい早いんです。本番1時間前から舞台でのあたりがあるの

で、それまでにスタッフさんは何百とある機械の操作のチェックをすませ、舞台掃除をして私たちを迎えてくれます。私の役はファラオの娘エジプトの王女だったのですが、必ず衣装さんが手伝つてくれてチェックして舞台上に送り出してくれました。髪型も出て行くたびに変わります。これは髪型でアムネリスの成長を表してもいたのですが、とても繊細な髪型だったので、やはり全て床山さん管理で、装着

も床山さんでした。一回の公演が終わるたびに、私の衣装カツラは全てメンテナンスされました。アイーダカンパニーは衣装さん4人床山さん4人で全てをまかなくなっていました。本番最中も私だけの床山さんや衣装さんではないので、細かく時間割がされており、分単位で動いていました。

私は舞台からはけるたびに、メイク、衣装、カツラ、時には下着まで変えて舞台に出ていきます。

舞台の袖の小さな空間で、まる一時間前からメイクをし、20分前から床山さんがカツラを被せに来てくれて、10分前に衣装を着替え、5分前に近くにいる共演者スタッフさんに「よろしくお願いします」とご挨拶してショーケースの中にセッティングされるといふ段取りでした。心静かに集中し、どうぞ皆が怪我することなく最後までたどり着き、お客様に作品の感動を渡せますようにと祈る時間でした。そして3分前になると舞台監督が舞台上に板付きのメンバーがちゃんといるかスター

トして大丈夫か確認に来てくれて「よろしくお願いします。」と挨拶します。操作盤に舞台監督が戻りその時が来ると照明さんにキユウが出されて客電が消え、ざわざわが静かになり、音響さんがオーヴァーチューアを流し、徐々に舞台のあたりも消え幕が音もなく上がり、一人の役者のきっかけで舞台上の役者が歩き出し、今度は物語の初めの音楽が流れ、私があるタイミングで静かに振り向き遠くからすつとさらに照明があたり歌いだすという流れでした。

この幕が上がる直前、お客様も現実の生活から離れて舞台に集中し、音響さんも照明さんも幕が上がっていない舞台に集中し、役者も衣装、床山さんもお客様やスタッフさんを感じながら舞台上に集中し、一つの物語をバトンタッチしながら作品の感動とテーマ「愛」を伝える。この瞬間が本当に幸せでした。一つの目的に向かって皆が集中し、ひとつの作品をお客様も含めてみんなで完成させる。やりがいを感じました。そしてたくさんのスタッフさんに支えら

れ、今舞台に立っていることに、感謝の気持ちでいっぱいになります。

ですから舞台に立つということとは私一人の問題ではなく、たくさんの人の思いの代表としてなので個人的に緊張している場合ではないと思っていました。舞台にたつのが辛い苦しい時もありました。でも自分の都合で仕事は回りません。またそこを乗り越えようと、やはり絶対にくまくなります。「皆さんありがとうございます」と毎日思っています。毎日思っています。一人では絶対に舞台はできない。逆に言うとき皆で力を合わせてやるものが舞台です。そして最後にお客様が感動してくださったら、よしと思う。

この仕事の喜びは、お客様に感動や生きる力を渡せるということ、たくさんの人の支えを感じることができ、人のことを思い、人から思われることを感じられる、それによって幸せを感じるということです。

皆さんある気がします。仕事をしているとき当たり前のこととして気づきもしないのですが、当たり前が当たり前じゃない、それに気づくか気づかないかが幸せになるかならないかの大きなポイントのような気がします。話はそれでしたが、ここまでが私がやってきたことです。

最後に歌をプレゼントして終わりたいと思います。オペラ座の怪人のメドレーお聴きください。

「プロフィール」

五東 由衣 (ごとう ゆい)

神奈川県藤沢市出身。

1983年

神奈川県立鎌倉高校卒業。



1988年

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。

1989年

『SFX-OZ』で初舞台を踏む。その後宮本亜門演出『エニシングゴーズ』『20世紀号に乗って』に出演。

1990年

劇団四季入団。

以後『キャッツ』『ジェリーロラム・グリドルボーン』『ミュージカル李香蘭』李愛蓮、『美女と野獣』ベル、『赤毛のアン』ステイシー先生、『オペラ座の怪人』クリステイリス、『アイーダ』アムネリス王女、『マンマミーア』ドナなど数多くの作品に出演。

2010年

12月劇団四季退団。

2012年

5月、韓国ミュージカル「パルレ」ヒジョンちゃんママ

現在は山王病院・国際医療福祉大学東京ボイスセンターをはじめとしてボイストレーニングの指導も行っている。

八ヶ岳西麓でのスローライフ

19 回生 (S43 年卒)

森田 章文

昭和 47 年に大学卒業後、新宿に本店がある百貨店に入社。本店及び近郊の店舗勤務を経て、後半は主に海外事業に携わりました。東南アジア、台湾、中国の店舗開店業務を経て、天津、上海の現地法人の駐在が合わせて 9 年間。上海からの帰任と同時に平成 21 年 3 月末に定年退職。

海外での単身赴任生活が長かったせいか、食事の偏り、運動不足等で高血圧、高コレステロール、高尿酸値と健康診断数値は、ほぼ壊滅状態となっていました。

これではまずいと思って、空気の良いところで体を正常に戻す場所がどこかないかと思ひ、家内の友人農家がある八ヶ岳西麓の原村というところのペンションに何回か出向き、今まで経験したことのない高原の空気に触れました。

吹きわたる爽やかな風。揺れる白樺。夜には手が届きそうな

満天の星空で、まるで子供の時

に見たプラネタリウムの世界。空の上にはこんなに沢山星があるのかと本当に思いました。そもそも百貨店は、商圏人口が多い都市部に店を作るので、夜にまじまじと星を見るなんていう発想はなかった訳で、今でも感動モノです。健康診断数値がかなり改善しました。

八ヶ岳に行くたびに友人農家を訪ねると、いつも採れたての野菜を頂いてそのおいしさに毎回驚きました。その農家は、野菜畑と田んぼがそれぞれサツカー場くらいの面積があるうえに、自宅の裏庭でも野菜を育てていて、それを家族 3 人で運営しています。

美味しい野菜を食べさせて貰っているだけでは申し訳ないので、多少でも農作業の手伝いをして恩返しをしなくてはと思ひ、また健康回復の思ひもあって、原村の隣、富士見町の標高 1300m の場所にある山荘を購入し、私の八ヶ岳生活が始

まったのであります。

八ヶ岳生活は、野菜の収穫（足手纏いになっていくかも知れませんが）、草取りの手伝いが中心です。晴耕雨読という言葉がありますが、友人農家はビニールハウスもあり、雨が降っても作業ができるので、彼らは休もうと思わない限り休みません。採れたての野菜が美味しいのは、良い空気と土と清涼な水だけではなく、農家の人の根気と努力の結晶だとつくづく思います。

手伝いの合間に多少でも農家の苦勞を理解できるようにと、畑の端の方を少し借りて自分でもジャガイモ、長ネギ、玉葱、人参などを作っています。試しにメロンの種を植えてみたところ、結構うまくできました。

野菜は地面から出てくるので地面に向かっての作業が、いかに体にとってキツイかつくづく解りました。

また秋には、稲刈りと刈った稲を横棒にかける天日干し、脱穀を手伝います。高原で

育てて天日で干したコシヒカリは、これまた美味で例えようがありません。

11 月下旬から 3 月中旬までは、気温が低くまた雪も降りるので、この間は手伝うことはありません。富士見町には人口一人当たりの本の貸し出し数日本一の図書館があります。本の品揃えは勿論ですが、窓からは八ヶ岳、南アルプスが望める絶景で、冬になるとなんと大きな炬燵が出現するのでこれも嬉しいですね。

自分で時間をコントロールできる八ヶ岳でのスローライフですが、何より人の役に立っていると思えることが至福の思いを増大させていると思います。



『鎌高卒、若き優れたアーティスト 小塚照己』

紹介者 18回生 (S42年卒)
関 出

現在東京藝術大学美術館長、
美術学部教授(日本画)

石彫家で大学教員の小塚照己氏につきまして、「うしお会」の皆様にご紹介する機会を、いただき大変嬉しく思います。

今日、社会のデジタル化が進み、電子情報量と速度を重視する価値観が優先的に評価されています。
そんなバーチャル時代への傾向の中にあつて、実材による造形表現の領域を深めようと、石と取組む若手作家は比較的になくなってきているのでしよう。感性豊かな「こころ」は一体どのような実感の積み重ねによって醸成されるのでしょうか。鎌高の立地環境については、自然への感受に作用する揺籃のようにも思えます。さて、ここに取り上げる小

塚氏は、東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻彫刻研究領域を昨春修了し、その後、彫刻科教育研究助手として教育研究の任に就き、一方において作家活動で活躍する現代彫刻家です。一昨年12月に東京藝術大学大学院美術館(東京都台東区上野公園)にて一般公開された博士審査展に出品された各科作品の中から、特に優秀な作品として「野村美術賞」(公益財団法人野村財団支援)が小塚氏に授与されました。式典後のレセプションで会話したなかで、小塚氏が鎌高を卒業した後輩であることを知り、「うしお」に標記タイトルで人物紹介させていただきたく思った次第です。

「私は東京藝大彫刻科の学部生のところから石を使って作品を制作しています。しかし、モ

ニユメンタルな石彫をつくる、というよりは、彫刻とともにある過程をどう楽しむことができるかを大切にしています。石は彫刻を代表する素材の一つです。そのため、古くからの数多くの傑作が世に残されています。たとえば、ミケランジェロの彫刻です。しかし、あのように石を彫ることができたとしても、今日では新鮮みがないでしょう。できるだけ、現代にくられるべき作品を生み出したかと思っているのです。ながしかなの隙をみつけようと試みています。

学部の卒業制作では、地下鉄のどこかへ続いてゆくトンネルの闇に興味を持ち、作品を制作しました。建築レベルのスケールを持つ主題を、合わせ鏡によって再現しました。この作品によって、自身の制作が石をけずるだけではやっていけないことが明確になりました。

大学院に進学してからは、彫刻科の林武史教授のもとで、様々なワークショップやプロジェクトにも参加し、同級生とのグループ展(彫刻の風景―道草―)や、日韓石彫交流展(s tone road)、研究室での受託研究(安曇野ストーンプロジェクト「石の星見台」)にかかわりました。大学院で、あらためて石彫を専門的に学ぶことができました。高校時代を鎌高の開放的な環境で過ごしたせいも、どうも屋内での作業よりも屋外制作の石彫が肌に合ったようです。

博士課程では授業の補佐もおこない、あらためて自身が学んできた石彫の授業に参加してみると、様々な発見があり有意義な経験をえました。彫刻科の石彫実習は、学部一年生対象で、まず真鶴の小松石採石場見学から始まり、自分が使う道具も、ハンマーの柄を木の枝から削りだし、フイゴでコークスを焚いて、ノミを何本もつくり、それらを用いて石を直方体にする

るといふ授業です。汗と石の粉まみれ、手はマメだらけになる肉体労働と言えるカリキュラムを履修します。石彫は普段では電動やエアの工具を使っても少し効率的に彫るもので、一年生の授業のようにムクの鉄棒からノミ先を作り、焼き入れをして使う、毎日フイゴで鉄のノミを鍛え直す、という前時代的なことはしません。その実習のうちで、「トビ矢」という鉄のクサビをつかって石を割る、これはまた面倒な方法を久々に実践し、労力をかけて石を割ることによって、簡単に電動工具を使って作業的に石を割ったときとの余韻が全く別物であると感じました。それまでに習得した技術によって簡単に石を割れるようになっていきましたが、本来、石を割るというのには、大変なことであるのを思い出し、それ自体が表現になり得ると気づきました。このトビ矢という技法は、石にくさび形の穴を、握りこぶし一個ほどの間隔であけて、そこに鉄のくさびをはめて、4キ

ロもある大ハンマーで何度も叩いて石を割るのです。叩いた際に鉄の矢(くさび)が反動でポンと飛ぶのでトビ矢と言います。プリミティブな技術で、この方法は時間も体力も消費します。非常に石の抵抗を体で感じますから、本当に割れるかどうかすら不安になります。現物と現場にある緊張感をはっきり感じる事ができます。

思い通りのフォルムだけから、星取り法や、3Dプリンターで出力することが正確です。ただ、彫る前の石も完成された彫刻も時間が止まっている訳ではなく、自分たちが目の当たりにしていることは過程でありまです。それならば、まだまだ過程に目を向けて作品を作ってもいいはずなので、私はそのような遠回りなことをやっています。この技法を求められ、2012年に、展示(“*requiem for the sun... the art is moonaha*”)の補助に、ロサンゼルスまで10トンの石を割りに行

きもしました。

過程に目先を向けた場合、私の場合クラフターですから、つくること自体を作品にする必要を感じ、組み立てのホビーである、プラモデルのキットを模した作品も制作しました。私が作品として作ったプラモデルのキットのかたちそのものは、組み立ての過程で壊すことになり、次には、造形が完成した石の彫刻作品を、同じ石でつくった石の坂を何度も転がして、摩擦させることをしてみました。実際にやってみると、これ以上転がすと作品が壊れてしまふな、とはつきりわかるのです。なので、壊すことと、つくることとの境界は作品の内にはなく、人の側にあると実感しました。彫刻はある意味、目の前にあるかたちを壊してつくっていくものです。山を壊し、原石をつくり、原石を壊し、彫刻にすると考えれば、トビ矢の手法を使

い、完成された石の彫刻に、石を割るための穴をあけた作品は、彫刻を壊し、作品をつくるという、また次の次元の創造がなされると言えます。作品を壊してゆくことも必要になっていくのです。

博士課程の修了題目作品において、この世にないものこそつくられるべき対象と考えていたもので、絶滅種を彫刻のモチーフに選び、ニホンオオカミの彫刻をつくりました。調べるほどに幻想的な存在になりつつある動物だという印象を受けました。とくに山岳地において神格化されてもいますので、人間のゆがめたかたちが面白く、それも参考に造形してみました。この作品は、現在は石から姿を変えて彫刻としてありますが、またいづれ何かの理由によって部分が割れたり、汚れたり、摩耗し風化していくのです。見るのは一時ですが、石は黙ってそのままだけでなっています。石を割ることは、荒石から彫刻を制作する手順の初期段階にあ

ります。しかし、完成された石の彫刻にそれを割るための穴を開けるといふことは、これから壊すということを示唆します。

私は彫刻にそのような隙をつくり、可能性を残した作品（石のニホンオオカミの石）を制作しました。物質としてだけでなく、印象や記憶としてとどめることも、私たちが生きてゆくかぎり絶えないことなのではないでしょうか。彫刻の持つ時間や物質の存在のかたちが石の作品ならば表現できると思えました。

教育研究助手になってからは（TOKYOGUNDAMPROJECT）で1/12ガンダムの大理石像（REIMIEWHITE dawn）制作を、岐阜県関ヶ原市の高木工房と共同で制作した。イタリアのカッ

ラーラ産の大理石を使い制作されました。これは制作段階のメイキングがYOUTUBEで視聴出来ます。

昨年の自身の制作と



しては、自身の石彫の過去作や、彫刻材の原石をそのまま石膏でかたどり、石膏に置き換える仕事をしています。これは、型取り、実物から別のものへ置き換えることによって、実物ではないものになり、そこに実物との距離感が生じ、物質を概念に変換してしまい、ものをつくる過程からはずすことができないうかという試みであり、永遠性への挑戦でもあります。彫刻には存在の永遠性を願うという性格があります。かたちあるものはすべて変化し、朽ちてゆきますが、人の行いは社会の中で連続とながれてゆく可能性もあるなと考えたのですが、どうもこのよ

うな壮大なスケールになってくると自身が追いつかないので、最近では考えるのをやめて理屈抜きに、量感、形態、動勢を大切にしています。何となくいい大きさ、何となくいいかたちを感じるのが冷凍マグロでした。冷凍なので、腐らずにそこにある。それは彫刻らしいなと感じました。このようないい加減な性分は鎌高でつちかった諸々のことで形成されているのだろうと思います。」

「プロフィール」

小塚 照己

KOZUKA, Teruki

1984年 生まれ

2003年

神奈川県立鎌倉高校

普通科卒業(平成15年)

2004年

東京藝術大学

美術学部彫刻科入学

2008年

同大学院美術研究科

彫刻専攻進学

2010年

同博士後期課程美術専攻

攻彫刻研究領域進学

2012年

博士課程修了

博士(美術) 学位取得

学位論文

「石を割る一隙と隙の間」

作品

「石のニホンオオカミの石」

野村美術賞受賞

東京藝術大学取手キャンパスに作品の設置

現在

現在

東京藝術大学 美術学部

彫刻科教育研究助手

青春を走り抜けた箱根駅伝

5 回生 (S 29 年卒)

小村 真一郎

お正月の名物と言えば昔から今日に至るまで、日本中の人が思うのは箱根駅伝だと思いません。その箱根駅伝で青春を走り抜けた鎌倉高校卒業生を紹介いたします。

その方は昭和 29 年に鎌倉高校を卒業され、現在 78 歳であられる小村真一郎氏です。

小村氏は、鎌倉高校在学中は陸上競技部に席を置き、長距離をやっていました。3 年の時、神奈川県高校駅伝 (小田原から横浜野毛まで) に出場し、その時は藤沢本町から戸塚の区間を任され、12、3 人を抜いたそうです。

昭和 29 年に鎌倉高校を卒業後、神奈川大学に進学しここでも陸上部に席を置き、長距離をやっていました。1 年生でいきなり昭和 30 年の第 31 回箱根駅伝に出場し、以降 4 年間連続して

箱根駅伝に出場されました。

まず、第 31 回、第 32 回箱根駅伝は 9 区を、第 33 回はアンカー (10 区)、そして 4 年生になった第 34 回は 6 区で箱根の山下りを任されました。6 区の山下りは膝に大きな衝撃があったそうです。

当時箱根駅伝を走る時は、現在の様な履きやすい運動シューズではなく、地下足袋だったそうです。4 年生になって初めて布のシューズを履いた時の感激は、今でも覚えているそうです。

そう思うと、昔はいかに厳しい箱根駅伝だったかが想像できません。又、当時は食糧事情も悪く、食欲旺盛な若人の胃袋を満足させるものではなかったようです。その中でほっとする一時は、厳しい練習後合宿所に戻ってからの皆との食事の時間だったそうです。

神奈川大学時代の 4 年生の時、箱根駅伝以外では長野の松本で行われた全日本マラソン大会 (10 マイル) に出場しました。その時オリンピック選手たちと一緒に走った事が強く印象に残っているそうです。

神奈川大学を卒業後は、横浜トヨペットに 3 年、その後は日刊工業新聞出版局に移り、定年までおられて今日に至っています。

社会人になられてからは、走るの好きっぱり止めて他のスポーツを楽しむことができました。



第 31 回 戸塚ワンマン通路



第 34 回 箱根山下り

現在は毎日ターゲット・パードゴルフに熱中しており、いろいろな大会に参加されています。本人曰く、昔から一つの事に集中するタイプだそうです。それが 4 年間連続して箱根駅伝に出場された源泉かもしれません。



41 年卒
森田豊文

部活動報告

●●● 運動部 ●●●

■ アメリカンフットボール部

冬の大会の神奈川選抜チームに部員から8名もの選手が選出され、試合でも大いに活躍しました。春大会には彼らを含めた36名の選手と8名のマネージャーで臨みます。秋季大会でベスト8で終わってしまった雪辱を晴らし、関東大会で闘い抜くことを目標に掲げて僕らのチームは走り続けますので、応援の程よろしくお願いたします。



■ カヌー部

2年生の有村です。自分は鎌倉高校カヌー部として高体連のカヌースプリント競技の試

合に出場させていただいてます。カヌースプリントとは競技用のレーシング艇と呼ばれるカヌーで200m、500m、1000mの直線コースで9艇ずつ同時スタートし、タイムを競う競技です。夏のオリンピック種目の一つとなっております。今年も鎌高の名に恥じぬよう全力で取り組みますので、応援よろしくお願いたします。



■ 弓道部

弓道部は現在3年生14人、2年生15人の29人に新入生を加えて活動しています。昨年は練習の成果がなかなか実を結び、苦しい時期が続きました。部員が多いことはうれしいのですが、弓道場が狭いの

で一人ひとりの練習時間が確保できないことが悩みです。今年こそは一昨年の東日本大会出場という輝かしい記録に追いつき、さらに高みを目指せるよう部員一同気を引き締めて弓道に取り組んでいきたいと思います。



■ 剣道部

剣道部は毎日元気に活動しています。昨年は女子が初めて団体で関東大会出場を果たしました。これは顧問の先生方を始め、師範の故津田先生、保護者の皆さま、卒業生の方々のお蔭で達成できたことです。こうして皆さまに支えていただいたことにより、12月の大会でもシードを守るこ

しらすと地魚料理・旅館 **かきや** (腰越電車通り)
 代表取締役 **戸倉 孝二** (昭和50年卒)
 〒248-0033 鎌倉市腰越3-7-24 <http://ishonan.com/kakiya>
 TEL: 0467-32-4828 FAX: 0467-32-4180

渡辺啓二税理士事務所
 税理士 **渡辺 啓二** (昭和46年卒)
 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸3-19-20
 TEL: 0466-21-8150 FAX: 0466-21-8151

株式会社 水落建設
 代表取締役 **水落 雄一** (昭和51年卒)
 〒251-0015 藤沢市川名801
 TEL: 0466-26-1601 FAX: 0466-23-6019

住友生命保険相互会社 湘南支社 湘南栄光支部
 支部長 **富田 朝子** (昭和50年卒)
 〒251-0052 藤沢市藤沢86番地 住友生命ビル5F
 TEL: 0466-27-6935 FAX: 0466-27-1305 URL: asako.811@sumisei.jp

株式会社 湘南セールスプロモーション
櫻井 淳 青野 久美 (昭和55年卒)
 〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-8-10-101
 TEL: 0466-25-1035 <http://shonansp.com>

有限会社 立花屋
 代表取締役 **叢 秀樹** (昭和51年卒)
 〒251-0055 藤沢市南藤沢2-1-3 ダイアモンドビル内
 TEL: 0466-22-2373 FAX: 0466-22-2373

これからも日々の積み重ねを大事にして精進していきますので、応援よろしくお願いいたします。



■男子硬式テニス部

男子硬式テニス部の活動日は月、火、木、土です。平日は16:00から2時間半、土曜日は4時間と時間を決めて集中して練習し、試合に臨んでいます。平成25年度神奈川県高等学校硬式テニス選手権大会では団体ベスト16という好成績を残しました。団体戦も個人戦も、先輩方を目標にして日々努力しています。これからも応援よろしく申し上げます。

■女子硬式テニス部

私たちは、楽しくお互いを高め合いながら活動しています。部員が少し減ってしまいましたが、元氣とチームワークで

日々の練習を盛り上げて頑張っています。昨年度の湘南地区大会ではベスト4に入ることが出来ました。顧問の先生やコーチ、卒業生の方々など周囲の人々に恵まれているので、感謝の気持ちを忘れずに、県大会に向けてよりいっそう練習に励みたいと思います。応援よろしく申し上げます。



■サッカー部

先輩方の奮闘により、昨年の選手権大会県予選では神奈川県ベスト8まで勝ち進むことが出来ました。しかし、神奈川県代表を目指しているので、ベスト4との力の差をはっきり感じてしまいました。残りの時間は少ないですが目標を変えずに、チーム全員で危機感を持ち、まとまりのある強

いチームを必ず作ります。そして、先輩方の分の夢を背負い、今年こそ小柴先生を全国大会に連れて行きます。



■水泳部

水泳部は部員同士で教え合い、お互いを高め合っています。冬は体力づくりのためのトレーニングをしています。昨年は女子2000m個人メドレー、女子4000mメドレー、女子4000mフリー、女子3000mフリーの3種目で関東大会に出場することが出来ました。今年も男女学年問わず仲良くインターハイを目標に頑張っていきます。



<p>有限会社 国分屋 代表取締役 飯田 圭太 (昭和60年卒) 〒252-0816 藤沢市遠藤728番地の7 http://www.kokubuya.com TEL: 0466-87-8832 FAX: 0466-87-8836</p>	<p>司法書士法人 湘南リーガルオフィス 司法書士 石田 宏治 (昭和58年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢1027番地2 TEL: 0466-27-7505 FAX: 0466-27-6966</p>
<p>市島徹社会保険労務士事務所 代表 市島 徹 (昭和62年卒) 〒220-0011 横浜西区平沼1-1-3 横浜オーシャンビル4F TEL: 045-534-3001 FAX: 045-314-0011 http://www.ichijima-labor.com/</p>	<p>セントラルモータープール 代表 田中 重光 (昭和61年卒) 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸1-11-13 TEL: 0466-28-7311</p>
<p>藤沢市役所 日坂会 180人の会員が元氣でがんばっています!</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>ICHIKAWA 価値ある逸品もかけがえのない一品も ⇒リフォーム&リペアお任せください</p> <p>〒251-0055 藤沢市南藤沢2-1-1フジサワ名店ビル2F tel: 0466-26-3870 fax: 0466-26-8390</p> </div> </div>	

■ スキー山岳部

自分たちスキー山岳部は日々の体力づくりなどを中心に活動し、月に一度丹沢山系の山々などへの山行、南アルプスへの夏合宿を行っています。さらに昨年は各自がインドアクライミングにチャレンジしたり、日帰りでスキーの練習会を行いました。今は少人数を生かして自分たちのペースで活動しているのですが、今年度は部員を増やして活動の幅を広げていくようにしたいです。



■ ソフトボール部

私たちソフトボール部は2年生6人、1年生8人で活動しています。旧ソフトテニスコートを自分たちで整備し、ようやくソフトボール場として試合の出来るグラウンドを

完成させました。また、地域の方々にソフトボールを教えるイベントも行っています。

昨年は新人戦県大会でベスト16に進んだので、今年は県大会ベスト4を目指して、全力で日々練習に励んでいるので、応援よろしくお願いします。



■ 体操部

体操部は2年生5人に新入生を迎えて活動しています。少人数ではありますが、活発に一生懸命練習しています。習い事や兼部している人も皆頑張っており、両立しています。ときどき他校との合同練習も行います。たくさん先輩方が私たち体操部に指導に来てくださることが、本当にうれしいです。これからもみんな仲良

く頑張っていきたいです。



■ 卓球部

卓球部は火・水・木・金曜日は16:00から2時間半練習、月曜日は自主練習、休日は他校との練習試合や公式戦へ参加しています。2013年の夏に行われた湘南地区高等学校夏季卓球大会では個人戦で男子が3位、女子が2位に入賞しました。男子7名、女子1名に新入生を迎えます。少人数ですがお互いに高め合い、日々頑張っています。応援よろしくお願いします。



■ ダンス部

ダンス部は春から夏は基礎練習や野球応援のチャアリーディング、夏から秋は神奈川県青少年ダンス発表会、冬に向けては神奈川県高等学校校ダンス新人大会、そして文化祭での発表など、年中楽しく且つ厳しく踊っています。県青少年ダンス発表会や県高校新人大会に出場する多くの学校では生徒は先生やコーチが指示した振りや構成を踊りますが、私たちはアドバイスはいただくものの、自分たちで一から作り上げました。入賞の目標には届きませんでしたが、それは自分たちの誇りとなりました。今年度はさらにパワーアップし、入賞できるように頑張ります。



■男子バスケットボール部

昨年度の新人戦は一度敗れましたが、その後のグループ予選で勝ち上がってなんとか県大会に出場することが出来ました。しかし県大会では1回戦で敗退し、実力不足を実感しました。残す大会は関東大会予選と高総体予選の2つです。県大会で経験した悔しさを忘れずに練習に励み、もう一度県大会で戦うことが目標です。



■女子バスケットボール部

私たち女子バスケットボール部は3年生1名、2年生7名に新入生を迎えて活動しています。人数が少なく、大会などで思うような結果を残せていませんが、まずは公式戦での1勝を目指して日々練習に取り組んでいます。先輩方か

ら受け継いだ女子バスケットボール部の伝統を私たちが絶やさないように常に努力し、仲良く楽しく活動していきたいと思っておりますので、これからも応援よろしくお願ひします。

■バドミントン部

バドミントン部は男子21名、女子20名に新入生を迎えて活動しています。昨年6月のインターハイ県予選、11月の新人戦県大会で、女子団体がベスト8に入りました。個人戦も県大会上位に入っています。冬の学年別大会では、初心者3名の優勝を始め、優勝・準優勝を重ね、15枚の賞状ももらいました。今年はベストを尽くして、鎌高での最高の成績が残せるように頑張ります。まず、関東大会出場を目指します。



■男子バレーボール部

男子バレーボール部は部員7名、マネージャー1名に新入生を迎えて活動しています。体育館での練習が週5日、外練習が1日です。練習のたびに皆で話し合い、出来ることを探して活動しています。実績はまだ無く、OBに来ていただける環境はそろっていませんが、バレー経験者がいらっしやいましたら是非来てください。



■女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は週に5日から6日、部員10名に新入生を迎えて活動しています。少人数のため出来る練習が限られるので、普段は男子バレーボール部と一緒に練習しています。新チームに

なつてからは秋の湘南地区大会で準優勝、冬には3年ぶりに県大会に出場することが出来ました。新3年生はあと数月、残り少ない時間を大切にしてください。一生懸命頑張ります。

■男子ハンドボール部

男子ハンドボール部は今年度に入りめざましい進歩をしております。その中でも特筆に値するのは、創部以来初の夏季新人戦で地区大会3位の成績を収め、当初の目標であった地区大会ベスト4の目標を果たせたことです。現在は関東大会県予選、全国高校総合体育大会県予選に向け部員一丸となり、県大会ベスト8の目標に向けて日々練習に取り組んでいます。他校の先生方からも注目されるようになってきているので、よりいっそう頑張ります。

■女子ハンドボール部

女子ハンドボール部は部員25

名で毎日楽しく活動しています。公式戦での勝利を目指し、コーチの指導の下練習に励んでいます。平日は自分たちで課題を決めて練習メニューを組んでいます。どのような練習をすればいいかを考えるのは大変ですが、ミーティングをしたりコーチに相談するなど「会話」を大事にしながら試行錯誤を重ねて決めています。試合で勝利して、みんな喜び合うのが私達の目標です。そんな私達を少しでも応援していただけたら幸いです。これからも県鎌女ハン



■野球部

マネージャーからの近況報告です。野球部は自主練や筋トレ、走り込みに力を入れた冬を越え、今は大会に向けてプレールに磨きをかけてい

ます。練習試合も増えて、個人やチームとしての課題を見つけ、話し合っって目標を立てています。私たちは選手を一番近くで支えられる立場を生かしていきます。今年は去年より一日でも長い夏にするので応援よろしくお願いします！



■陸上競技部

今年は例年より大会出場の機会に恵まれ、団体種目であるリレーや駅伝にも出場しました。練習時間が少なくても一杯努力した結果、湘南地区大会新人戦で3位となりました。また、中高合同練習会などにも多く参加したことで以前より実力もついたので、今年の実績を残したいと思っています。これからも日々努力

してまいりますので、応援よろしくお願いします。

●●●文化部

■KBS(放送部)

KBSは3年生が4人、2年生が3人に新入生を迎えて楽しく活動しています。おもな活動はお昼の時間の放送です。最初は校内に音楽を流したりアナウンスをする時にとでも緊張しましたが、慣れてくるとやりがいがあります。また、昨年は合唱コンクールや文化祭でアナウンスもしました。今年も体育祭があるので、全力で放送していきます。



■茶道部

茶道部は校内だけの活動にとどまらず、地域での活動にも積極的に参加しています。大仏慈善茶会の学生席や大佛次郎茶亭公開(4月・10月の第1土曜日)での呈茶に、引き続き参加させていただいているので、卒業生の皆さまも是非足をお運びください。また、長年御指導くださった酒井先生が平成25年3月に御勇退されました。4月から宮澤先生の御指導の下に、今後もおもてなしの心を大切にしている鎌高の伝統を守り、茶道の普及に努めていきます。



■室内楽部

室内楽部は外部から講師の先生に来ていただきながらクラシックやデイズニー、スタジオジブリなどのさまざまな曲に挑戦しています。年に数回、

近隣の病院や施設へ演奏しに行かせていただきます。その活動が評価され、昨年の冬に県教育委員会表彰をいただきました。部員は数名と、とても少ないですが個性溢れるメンバーで毎回楽しく練習しています。火曜日と金曜日の週 2 回活動していますので、私たちの演奏を聴きにいらしてください。



■吹奏楽部

3 年生 12 人、2 年生 19 人に新入生を迎えて、アットホームに楽しく活動しています。昨年度は、県南吹奏楽部コンクールにて銀賞、県南アンサンブルコンテストではクラリネット五重奏で銀賞、金管八重奏で銀賞、文化祭ステージ、腰越みなと祭り、定期演奏会で演奏しました。なお、第 28 回定期演奏会は 2015 年 3

月 30 日(月)の夜に鎌倉芸術館で開催することが決定しました。お時間がありましたら是非お越しください。部員一同心よりお待ちしております。

■美術部

美術部では自由に制作活動しています。去年は文化祭に向けて、部員全員が一所懸命制作に励みました。また、鈴木病院の文化祭や高校美術展などにも毎年出展しています。今年も文化祭がないので、いろいろなコンクールに積極的に応募し、年間を通して作品を作り続けられるようにしていきたいです。



● ● ● 同好会 ● ● ●

■科学研究会

鎌高前の海岸砂鉄を使ったたたら製鉄に取り組んでいます。砂鉄を還元しただけでは鉄にならず、砂鉄に含まれる成分元素が影響することが分かりました。この研究成果を日本学生科学賞神奈川県作品展に出展したところ、神奈川県知事賞を受賞しました。今後も鎌高前の海岸砂鉄から玉鋼ができるよう頑張ります。



■合唱同好会 (glee)

私たち glee 同好会は毎週月・水・木曜日に音楽室で活動しています。「glee」とは「合唱」を意味します。米国で放送されている「glee」というドラマを参考にして、生演奏をバックに洋楽を歌い踊っています。

す。文化祭など発表の機会は限られ、部員も少ないですが、「glee 同好会ってかっこいいな、一緒に歌ってみたいな」と思われるような部にするため頑張っています。



■日本語の歌を歌う会(日歌会)

ここ数年で他校と交流することがとても多くなりました。ライブを重ねる中でそれぞれのバンドが刺激を受け、いっそう練習に精進しています。昨年度は 2 年生が中心となつて、ライブハウスでの企画も行いました。音楽で始まる出合いが今年もたくさんありますように。



大 学 名	2014	
	合	現
東洋英和女学院大	7	7
東 邦 大	1	1
同 志 社 大	1	1
日 本 大	33	28
日本獣医生命大	2	1
日本女子大	3	3
日本赤十字看護大	1	1
日本体育大	3	3
フェリス女学院大	7	7
文 教 大	1	1
法 政 大	35	28
武 蔵 野 大	4	3
明 治 大	34	25
明治学院大	56	51
明治国際医療大	1	1
明 星 大	1	1
目 白 大	1	0
立 教 大	27	25
立 命 館 大	4	3
早 稲 田 大	26	19
私立大学合計	570	488
文部省所管外		
海上保安学校	1	1
公立短期大学		
私立短期大学		
相模女大短大部	1	1
帝 京 大 短	1	1
東京農大短大部	1	1
そ の 他		
専 門 学 校	3	2
海 外 大 学	1	1

大 学 名	2014	
	合	現
国 立 音 大	1	0
慶 応 大	9	5
工 学 院 大	3	3
国 学 院 大	7	6
国際医療福祉大	3	3
国際基督教大	1	1
駒 澤 大	28	24
相模女子大	1	1
産 業 能 率 大	6	5
実 践 女 子 大	2	2
芝 浦 工 大	3	3
上 智 大	15	10
昭 和 大	1	1
昭 和 音 大	1	0
昭和女子大	1	1
昭 和 薬 大	2	1
成 蹊 大	8	7
成 城 大	13	12
聖路加看護大	1	1
専 修 大	27	24
大 正 大	1	0
拓 殖 大	1	1
玉 川 大	4	4
多 摩 美 大	4	1
大 東 文 化 大	1	0
中 央 大	30	25
帝 京 大	3	2
帝 京 平 成 大	1	1
東 海 大	13	13
東 京 医 大	1	1
東 京 家 政 大	4	4
東 京 都 市 大	19	17
東 京 電 機 大	4	1
東 京 農 大	6	6
東 京 薬 大	4	4
東 京 理 大	9	5
東 洋 大	8	7

大 学 名	2014	
	合	現
国立大学		
北 海 道 大	1	0
東 北 大	2	0
弘 前 大	1	1
秋 田 大	1	0
埼 玉 大	1	1
電 気 通 信 大	2	1
東 京 学 芸 大	2	1
東 京 芸 術 大	1	0
横 浜 国 立 大	1	0
岐 阜 大	1	1
静 岡 大	1	1
福 岡 教 育 大	1	0
琉 球 大	1	0
国立大学合計	16	6
公立大学		
首 都 大 東 京	2	1
横 浜 市 立 大	5	5
神 奈 川 保 福 大	3	3
公立大学合計	10	9
私立大学		
青 山 学 院 大	30	27
麻 布 大	2	2
桜 美 林 大	1	1
大 阪 工 大	1	0
大 妻 女 子 大	2	2
学 習 院 大	8	8
学 習 院 女 子 大	1	1
神 奈 川 大	19	18
神 奈 川 工 科 大	1	1
関 東 学 院 大	8	7
関 西 大	2	1
北 里 大	7	6
共 立 女 子 大	1	1
杏 林 大	2	2

平成25(2013)年度 進路状況概況

(注) 合は合計数 現は現役生の数です。

※ このデータは平成26年3月31日締めのもので、今後変動する場合があります。

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	決算額 b	増減額 a - b
繰 越 金	3,881,985	3,881,985	0
62回入会金	1,555,000	1,555,000	0
利 息	500	497	3
協 賛 金	2,000,000	4,367,630	▲ 2,367,630
寄 付	0	126,000	▲ 126,000
合 計	7,437,485	9,931,112	▲ 2,493,627

*協賛金のうち広告費 220,000 円

収入 - 支出

9,931,112 - 4,111,573 = 5,819,539 円
(2013年度へ繰り越し)

〈特別会計 (周年行事積立金)〉

繰 越 金	580,349
積 立 金	200,000
利 息	91
合 計	780,440

* 780,440 円 (2013 年度へ繰り越し)

〈支出の部〉

項 目	予算額 a	決算額 b	増減額 a - b
会 議 費	50,000	6,240	43,760
会 報 費	2,900,000	2,881,961	18,039
通 信 費	200,000	103,035	96,965
部 活 動 補 助	550,000	350,000	200,000
卒 業 記 念 品	250,000	245,680	4,320
設 備 整 備 費	200,000	239,272	▲ 39,272
交 通 費	50,000	35,000	15,000
事 業 費	100,000	40,000	60,000
雑 費	50,000	10,385	39,615
周年行事積立金	200,000	200,000	0
予 備 費	2,887,485	0	2,887,485
合 計	7,437,485	4,111,573	3,325,912

会計監査の結果、上記の通りであることをご報告します。

会計監査 廣田 真二

平成24年度
会計決算報告

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
繰 越 金	5,819,539	3,881,985	1,937,554
入 会 金	1,380,000	1,555,000	▲ 175,000
利 息	500	500	0
協 賛 金	2,000,000	2,000,000	0
寄 付	0	0	0
合 計	9,200,039	7,437,485	1,762,554

〈特別会計 (周年行事積立金)〉

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
繰 越 金	780,440	580,349	200,091
積 立 金	200,000	200,000	0
寄 付	0	0	0
利 息	100	60	40
合 計	980,540	780,409	200,131

〈支出の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
会 議 費	30,000	50,000	▲ 20,000
会 報 費	2,900,000	2,900,000	0
通 信 費	200,000	200,000	0
部 活 動 補 助	650,000	550,000	100,000
卒 業 記 念 品	220,000	250,000	▲ 30,000
設 備 整 備 費	200,000	200,000	0
交 通 費	50,000	50,000	0
事 業 費	100,000	100,000	0
部室等補修費	3,000,000	0	3,000,000
雑 費	50,000	50,000	0
周年行事積立金	200,000	200,000	0
予 備 費	1,600,039	2,887,485	▲ 1,287,446
合 計	9,200,039	7,437,485	1,762,554

備 考

会 報 費：「うしお」印刷費、送料
通 信 費：電話代、OCN利用料、切手代等
部 活 動 補 助：関東大会及び全国大会出場祝い金
インストラクター謝礼
設 備 整 備 費：ホームページ管理費を含む
交 通 費：ボランティア交通費
事 業 費：同窓会応援金

平成25年度
会計予算

脇 S 勝三古藤福森菜加海小玉永今三脇城馬和高 S 小白高白池三橋磯井小奴加家菊一山長恩
 36 川 木神沢井田 木藤渡沢川倉福吉坂 場知橋 35 泉石梨石田村爪部 関沢田藤氏地花本尾田
 正 敏典節啓信良敏 勝維幸嘉泰枝正隆忠弘昭 一泰敬修和輝正康ど英二紘孝晴 達光周
 暢 子子子子子男明清義大子行夫子彦男蔵子光 雄子造平子彦義男り二夫一子代茂雄博子

島川上石有成田加伊阿小井川杉佐山関島村秋服大鈴野外北成橋佐外皆山諸岩光関渡栗大仲
 崎 森清村田中藤藤部坂原口山藤村根崎木林部 内木尻尾野瀬本 藤三岡川次石出永根 邊原塚村
 義 祥水克雄正邦裕康宏清早勝正洋拓庸圭幹 章健章順弘紘 千祥昌和 祥睦一義泰州
 明洋一武彦三明彦夫徳見隆苗彦長一司子子子設弘夫子子恵一直雄子子男伝章子子郎夫基夫

向宮清小宇谷大内沼石滝下石吉柘丹秋渡今土友浦清田村井河多伊牧浜石島杉小菊若 S 広
 窪原水林佐須岡谷田井井本里井井植間元辺井 橋野田水中田上村田東野崎原村沢森地宮 37 瀬
 美房一俊久美建勝 忠邦勝岑裕洋康紘淳謙康洋 文勝曠朋賢和喬一幸喜 弘 素玲信崇 裕
 子子郎一子介男 夫代子雄一子一平二男一亨子利義子三代夫生子代豊実行譲子子義令 二

岡浅山平徳森石石大長河伊山宮新佐成柘白讓小阿中宇福山犬平森鈴早田大石富根 S 高
 本沼本間永岡川川森谷野奈本本倉藤田田井原玉住込達島本塚井田木川中野笠塚永岸 38 橋
 淑捷光 克康晴正 義雄忠子子明子代子子肇子子樹子子 蔵郎子道子郎夫子男見子 瀧
 進子雄裕福勲彦子美義雄忠子子明子代子子肇子子樹子子 蔵郎子道子郎夫子男見子 瀧

廣松飯城金佐星福関石齊 S 高鶴富榎須杉奥石浜稻川小石飯新三菅脇大鷺塩香河伊奥寺海 S
 田延田之田藤野住田田藤 40 田田山本崎崎富井田葉島田田塚倉浦川弘和伸純秀英恵正保謙 39 津
 善国幸礼 正樹 一秀三 永 鎮典淑桃政修文和庸律弘マ 治四和 和伸純秀英恵正保謙
 幸彦宏子彦子徳郎一郎二 通子子枝勝三和夫夫之子之子之子子郎夫子子子子則史子志男一昭

小山佐加石安阿菅金小東伊進小寺北清山青鎌都土森森増原飯公磯小岡石山鈴一平上水内
 川田藤藤井齊原井寺坊藤み圭滋崇早 陽郁 好雅隆隆章容伸敏直藤矩孝英 爾 郡野津藤
 赫之慧治 幹由建邦博明さ 子稔郎宏苗孝子子守美光夫之夫晟夫明之枝久芳子一典子子之
 子久亮道猛男子吉之美子と子稔郎宏苗孝子子守美光夫之夫晟夫明之枝久芳子一典子子之

増浜渡宇三前岩中今三藤松淵河浜河山高山内矢青尾森小織田田牧東加篠麻平市橋中中宇 S
 子野辺津橋東沢込泉崎林村上野田原田根橋田田沢木高島野畑尻口山藤田生野原本田田佐 41
 博正節哲 和 春 芳 和 祐隆三由利 公健誠 則幹康親 曙明里 陽美津 準蒔幸泰邦正正美
 子明子郎晃隆晃生厚陽明子尚二郎子高次一進光夫文雄浩子子子一子子一絵子夫久夫夫尊

高 S 熊三増三森久馬新駒柳中酒安前林鶴高齋黒山宮平田松程深富川新太伊松中今杉長久富
 梨 42 沢木田橋川保場居崎本山井宅田 田橋 藤日 出 一幹栄敏研正隆 康 有紀裕 正頼 津 紫茂
 秀 敏栄隆真 洋 敏正慶成民健 是明克 藤出 一幹栄敏研正隆 康 有紀裕 正頼 津 紫茂
 一 一子子弓満治郎雄夫生夫司仁旭清久人明男之博三男二博士正郎進子子男悟雄子子乃樹

小有西伏島黒大高宮町増松皆寺蝦石堀川鎌加佐浜市藤小高荒小小小塩沖中友安望本土土
 泉山村見田平津野沢田田島川田名黒 島田藤藤谷川井杉野関島林嶋沢山川松部月田佐屋
 久達友利順紀久紀知 由知雅一 清一公清 孝恵啓通 啓純正隆和恵幸 宣憲律正恵緒一
 男郎子明太男雄子子博紀幸江敏優志美隆憲豪邦子子子均治子一雄義子一子久定子子子子郎

石三荒池菊 S 山米長斎小中上峰大上目丹山松大堀大原荻久鈴 S 佐新松高石関古田藤氏宮和
 丸戸川田池 57 口倉川藤林島村 聖村黒羽田尾見川内串田原留木 56 藤倉浦橋田口城中田平本中
 一森辰達佳 康美和英 佳 利 茂和律峰祐 斉 信直伴規智俊 健紀晴美 子美子夏子真子哲子香健
 成徹雄哉子 清子子徳樹功子治幸樹子子彦三文彦子子彦子介 一子美子夏子真子哲子香健

藤高山岩津ホ石岩岩横高武大古正田伊高大野鎮平伊 S 渡青由山角岡佐加田山中細合長中加
 本橋田澤村 | 塚崎井瀬橋藤塚も木 由東橋橋村西野東 58 辺木井本本々藤村崎村谷田田川藤
 直良 / 一令桂 直佳佳 哲 り 紀 良良重昇 夏 里美 英之 義道敦陽 敦麻
 彦彰子美子子子子隆巧史健美滋子樹彰人子洋子樹 奈子夫信淳ず也則子生元子里勇淳憲

伊荻新海秋増河奥山 S 加荒吉緑大飯尾石中糸田土小高飯 S 渡永山服上志平神船松崎畑 S 59
 藤上野山田合戸田 61 藤井村川木田嶋川 久保晋 友純 晋和 麻和み 五千陽善裕瑞 正克
 順智 秀昌理信 淳健博 将和 寛 子郎 聡樹彦孝仁嗣 一介司明良人子淳行司行子仁平信 貴子え一愛子男司保進義海

田益堀室白重岩山小大 H 青服 S 佐戸中和久上田 S 原巢渡新田井相橋竹内藤宮石津小樋檜 S 62
 中山井井沢田本村野橋 1 島と 64 藤村山田我良 野野 63 田 山 辺 田 中 上 沢 本 居 藤 原 崎 川 田 飼 口 山 久 美
 優隆晃美貴 由博恭崇史政 朋も 朗 呂 路 信 真 由 陽 理 朝 洋 千 正 貴 お 揚 公 さ 直 美
 子太夫香子章子之生仁 子子 子子 康子彦弓子 一子健尚子宏一織浩子り子一ほ美博子

沼早眞 H 菅安阿羽仲鈴 H 大藤高道長青松安 H 阪板山西松石北柴近水草 H 細滝澤和之 奈穂美 2 田 達 敬 子 永 介 郎 資
 上川野 5 沼井部賀田木 4 山曲橋場田木浦 達 3 間 橋 本 村 万 喜 典 史 則 郎 紀 美 也 美 子 永 介 郎 資
 一 禎 克 弘 貴 洋 暁 史 委 一 智 麻 智 克 京 紀 稔 政 吾 理 子 典 史 則 郎 紀 美 也 美 子 永 介 郎 資
 郎崇久 宣子行一子枝 義郎子美史彦子子 稔 政 吾 理 子 典 史 則 郎 紀 美 也 美 子 永 介 郎 資

小多高角石 H 岡佐日松田 H 高小 H 凶篠植 H 小鈴 水谷 落中 H 福倉高 H 日林長園草松 H 井江 H 6
 池田出田井 島藤向田中 14 矢野 師 田松 賀 木 泰 11 合 原 室 田 矢 9 下 部 牧 篤 孝 太 7 上 尻 6
 晴祥 武直 七慎隆 美 麻典 野重 健 雄 志 宏 之 造 憲 之 夫 徹 史 夫 郎 子 史
 美平悟頼樹 淳生吾宏翼 希周 稔衣子 健雄子 志 宏 之 造 憲 之 夫 徹 史 夫 郎 子 史

山 H 石中数大塩藤鈴佐後 H 加佐石鐵田塩田 H 日日常石 H 武徳川 H 益西 H 小深 H 佐伊吉岸 H 16
 田 川 山田鋸田澤木藤 23 藤 藤 川 慎 邊 田 中 22 野 高 盤 神 永 西 田 19 森 堀 18 藤 東 田 亮 16
 融 優子介介平咲子恵朗 志充郎朗郎美人 介祐樹昂 晃介子 兵平 太衣 郎美大郎
 京亮雄将美貴 一 理 太 友 哲 浩 英 恭 亮 良 恭 順 啓 夢 太 聖 崇 太

青中小田山土大飯林黒古池武竹岡宮堀稲芳近白 H 井井湯中足藤高石佐小中深大
 木 松 村 本 屋 森 尾 川 上 藤 本 崎 見 藤 井 上 上 地 原 立 本 橋 田 藤 澤 村 堀 谷
 慧 真 理 芽 太 慶 高 利 菜 央 優 乃 育 彩 井 森 大 桃 玄 京 雪 由 陽 初 由 直 景 実
 太 諒 実 子 似 郎 香 佐 美 絵 誠 佑 朗 志 香 陸 希 俊 伶 音 誠 人 生 佳 太 子 花 佳 子 美 寛 斗 應 李

内訳：ゆうちょ銀行へのお振込み	566件	1,654,870円
コンビニエンスストアでのお振込み	596件	1,973,445円
横浜銀行へのお振込みおよび現金	13件	52,000円
参考：2011年度は	620件	2,170,098円



平成26年度総会&懇親会のお知らせ

昨年も6月に総会、懇親会を行い、幅広い年代の多くの方にご参加いただき楽しく過ごすことが出来ました。

本年も、以下の通り総会&懇親会を行います。多くの方にご参加いただき、新しいうしお会の方向を話し合しましょう。懇親会バーベキューには、今回も、多くの方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。

■ 平成26年度総会 ■

以下の日程で行われます。

日 時：平成26年6月28日(土) 11:00~12:00

場 所：神奈川県立鎌倉高校国際理解ホール
(旧図書館の場所)

対 象：うしお会会員（鎌倉高校卒業生）
でしたらどなたでも

議 事：(1) 平成25年度事業報告について
(2) 平成25年度会計決算報告について
(3) 平成25年度会計監査報告について
(4) 平成26年度事業計画案について
(5) 平成26年度会計予算案について
(6) 平成25年度・平成26年度
役員について
(7) その他



写真は昨年6月の様子

うしお会 懇親バーベキュー大会のご案内

今年度も、総会終了後、懇親会を開催します。晴天ならば屋外でバーベキューを行います。年齢を超えた先輩後輩の親睦を深めましょう!!

日 時：平成26年6月28日(土) 総会終了後12:30頃から

場 所：神奈川県立鎌倉高校国際理解ホール前の中庭（雨天の場合はホール内）

対 象：うしお会会員（鎌倉高校卒業生）でしたらどなたでもご出席いただきたく存じます。
また、ご家族の皆様もお連れ下さい。

参加費：1,000円（小学生以下無料）

申込み：うしお会のホームページよりメールフォーム
またはファックスにてお申し込み下さい。



昨年6月の記念撮影

役員役割分担

- 会長 鈴木勝貴 (S45年卒) 総括
- 副会長 増田隆之 (S40年卒) 総務担当
- 副会長 森田豊文 (S41年卒) 会報担当
- 副会長 深澤隆史 (S41年卒) 会計担当
- 会計 新居正雄 (S41年卒)
- 会計監査 富田達 (S41年卒)
- 書記 高橋建二 (S46年卒) 総務(運営担当)
- 書記 堀英彦 (S46年卒) 総務(名簿担当)
- 書記 渡辺晃 (S47年卒) 総務
- 書記 峰治 (S56年卒) 総務
- 書記 渡邊葉子 (S62年卒) 総務
- 書記 新田尚 (S62年卒) 会報
- 書記 桜井淳 (S55年卒) ホームページ
- 書記 奥蘭千栄子 (S48年卒) 会報
- 書記 富田朝子 (S49年卒) 会報
- 書記 叢秀樹 (S51年卒) 会報

- 書記 安井弘子 (H4年卒) 会報
- 書記 梅津美葉 (H5年卒) 会報
- 顧問 滝沢茂男 (S41年卒)

学校側役員

- 校長 柏木隆良
- 副校長 石川雅之
- 教頭 永田宏 (S54年卒)
- 事務局 小柴健司 (S48年卒)
- 事務局 木暮博道 (S54年卒)
- 事務局 野鈴恵 (H元年卒)

「みんなで作ろううしお」…投稿・ご意見募集!!

同窓会「うしお会」は、県立鎌倉高校を卒業した方なら、卒業と同時にめれなく会員となっております。在学中、楽しかった人も楽しくなかった人も、卒業後は新たに世代を超えた先輩・後輩・同輩との交流ができることと思います。世代は違っても、鎌高らしい自由でユーモアあふれる仲間と、同窓会「うしお会」を通してリンク(つながって)していきたいでしょう!!

会では、会報誌「うしお」や同

編集後記

昨年からはスポーツや芸術分野で活躍されている鎌高卒業生にスポットを当て、うしおに取り上げていきます。

昨年はアメリカン・フットボールの選手、今年には石彫家を取り上げました。推薦したい方がおられましたら事務局までご一報下さい。



同窓会「うしお会」は、県立鎌倉高校を卒業した方なら、卒業と同時にめれなく会員となっております。在学中、楽しかった人も楽しくなかった人も、卒業後は新たに世代を超えた先輩・後輩・同輩との交流ができることと思います。世代は違っても、鎌高らしい自由でユーモアあふれる仲間と、同窓会「うしお会」を通してリンク(つながって)していきたいでしょう!!

会では、会報誌「うしお」や同

❖ 広告募集 ❖

会報「うしお」の広告を募集しております。厳しい経済環境ではありますが、会員皆様のより一層のご協力とご理解を、お願い申しあげる次第です。

- 料金 / 一 枠 : 10,000 円
- お問い合わせ先 : うしお会 広告事務局
☎ 0466-25-1035
✉ pet@toretate-shonan.com

いて…等など。こんな記事があったら、こんなコーナーがあったら盛り上がるよ、というような事ありましたら同窓会までお知らせください。お待ちしております。

県立鎌倉高校同窓会「うしお会」事務局
メール :
Email:kamakao@ceres.ocn.ne.jp
Fax : 〇四六七-三九一三六八
ホームページアドレス :
http://www.ushiokai.net.

インターネットでどんどん拡がる「うしお会」

<http://ushiokai.net>

うしお会

で検索!

インターネットによる情報収集や通信販売がますます盛んになっていく世の中です。うしお会のホームページもどんどん進化していきます。

会報誌「うしお」のウェブ配信はもちろん、皆さんの参加でフォトギャラリーや同窓会情報など多くの同窓生にとって、いつも新しい情報が掲載されていて、アクセスするのが楽しいホームページに進化させていきましょう。

ポイント!!

1. 会報誌「うしお」が配信されています。
2. 住所が変わった方から簡単にご報告いただけます。
3. 鎌高周辺の美しい風景のフォトギャラリー。
4. 各年代で行われる、または行われた同窓会情報をご覧ください。
5. 同窓会情報のページはインターネット上で情報交換が可能です。
6. 鎌高公式サイト of 最新情報も自動的に更新されます。
7. 携帯でもご覧いただけます。
8. facebook でも「うしお会」仲間がグループを作って情報交換中です!
「友達を検索」してみてください!!

どうぞ、「お気に入り」に入れて、毎日ご覧になってください。



フェイスブックを楽しんでいる人達の間で自然発生的に出来上がった「鎌高 OB・OG のフェイスブックのグループ」には現在約 160 人超のうしお会の会員が参加しています。

ここでは日々の鎌高 OG、OG の活躍の話題などが情報交換され、そして年代を超えたソーシャルネットワーク上のコミュニケーションが行われています。

フェイスブックのアカウントを持って投稿をされている方は、是非、ご一緒しましょう。「非公開のグループ」の設定となっており、グループ参加者以外には見られない設定になっています。従って参加するためには、既に参加されている人の「招待」が必要です。また、すべての参加者はお知りあいの鎌高 OB・OG を招待することも可能です。同級生や先輩後輩のうしお会員がまだ、このグループに参加されていなかったら是非、ご招待ください。

さて、フェイスブックをやっていない方（アカウントを持っていない方）は、是非、Yahoo!やGoogle でfacebookと検索して、指定の項目に答えてアカウントを取ってみてください。実名で本人の顔写真を使ってコミュニケーションをすることが基本ですが、そうでない人も実際にはいらっしゃいます。個人情報の流出など心配すべきこともないとは言いませんが、まずは試してみてください。

発行所 / 五月三〇日
 二〇一四(平成26)年
 発行 /
 神奈川県立
 鎌倉高等学校・同窓会
 鎌倉市七里ヶ浜 潮会
 二一二十一
 〇四六七
 三二一四八五一
 事務局直通
 (TEL / FAX)
 〇四六七
 三九一三六六八

<http://www.ushiokai.net>
 E-mail: kamako@ceres.ocn.ne.jp

お名前とメールアドレスをご連絡ください。
 事務局からご招待のメールをお送りいたします。